

令和元年度（2019 年度）  
介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント  
委託先一覧

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧( 東部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 光栄会	日の山園在宅介護支援センター	4月	3	2	95	42	142
	オパール光栄在宅介護支援センター	4月	1	2	55	56	114
	あすとびあ光栄在宅介護支援センター	4月		1	45	49	95
	ケアタウン日の山園在宅介護支援センター	4月	3		36	37	76
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月		1	12	9	22
	株式会社 河村福祉サービス海の家	4月		1	24	28	53
	株式会社 河村福祉サービス宇部南	4月			12		12
社会福祉法人 むべの里	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月	1		10	21	32
	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月	1		1		2
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月					0
	寿光園指定居宅介護支援事業所	7月	1		6		7
社会医療法人 いち樹会	社会医療法人尾中病院	4月	1		9		10
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月			7	12	19
有限会社エムエッチイー企画	あじす陽だまりの家居宅介護支援事業所	4月			12		12
株式会社 ニチイ学館	ニチイケアセンター西岐波	4月	1		12		13
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月				12	12
株式会社 妃先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	1		5		6
医療法人 太白会	医療法人太白会シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月	3		40		43
ホームナース立花	立花居宅介護支援事業所	4月			12	22	34
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月			12	7	19
有限会社 くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1		9		10
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月			21	23	44
合同会社 いまむら	いまむら居宅介護支援事業所	4月	2		30		32
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月			3	12	15
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月			24	24	48
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月				12	12
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月				11	11
一般社団法人宇部医師会	宇部医師会在宅介護支援センター	4月			12	8	20
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun To Life	4月	2		47	12	61
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所宇部あいおい苑	4月					0
合同会社 ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月			2		2
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	3月	1				1
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	3月	1				1
<b>総 計</b>	<b>33事業所</b>		<b>23</b>	<b>7</b>	<b>553</b>	<b>397</b>	<b>980</b>

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(東部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所 東芝中	4月	1	1	32	45	79
	むべの里居宅介護支援事業所 博愛園	4月	1	1	4	16	22
	むべの里居宅介護支援事業所 はぎわら	4月	3	4	115	143	265
社会福祉法人 光栄会	あすとぴあ光栄在宅介護支援センター	4月	0	0	0	12	12
	オパール光栄在宅介護支援センター	2月	0	1	0	1	2
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月	1	2	9	12	24
	株式会社 河村福祉サービス 海の家	4月	2	0	41	0	43
	株式会社 河村福祉サービス 宇部南	4月	0	0	13	12	25
医療法人 和同会	宇部リハビリテーション病院在宅介護支援センター	4月	1	0	39	0	40
	宇部西在宅総合支援センター	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	0	0
	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	0	12	12
医療生活協同組合 健文会	宇部協立在宅介護支援センター	4月	1	2	49	10	62
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	0	0	12	12
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所 宇部あいおい苑	4月	0	0	10	2	12
NPO法人きょう・生	ケアセンター共生	4月	1	0	3	0	4
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	43	28	71
株式会社 ニチイ学館	ニチイケアセンター西岐波	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	7	2	211	86	306
一般社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	1	2	43	18	64
株式会社 愛優会	ケアマネセンター 未来	4月	0	0	9	3	12
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	2	0	29	14	45
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	0	24	12	36
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	25	12	37
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月	0	0	12	23	35
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
合同会社 和み会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	0	2	12	11	25
合同会社 ひだまりねっと	合同会社 ひだまりねっと	4月	0	0	0	7	7
医療法人 太白会	シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月	1	0	1	1	3
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーション Fun to Life	4月	0	2	47	20	69
合同会社 美咲	居宅介護支援センター 美咲	4月	0	0	0	0	0
社会医療法人 いち樹会	社会医療法人 尾中病院	4月	1	0	1	0	2
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	5月	0	0	0	0	0
医療法人聖比留会	厚南セントヒル病院居宅支援事業所	9月	0	1	0	0	1
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	10月	1	0	4	0	5
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	10月	1	0	2	0	3
NPO法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	1月	0	0	3	0	3
<b>総計</b>	<b>39事業所</b>		<b>25</b>	<b>20</b>	<b>841</b>	<b>512</b>	<b>1,398</b>

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(西部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里	むべの里在宅介護支援センター厚南	4月	2	2	116	215	335
	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月			12		12
	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月		1	24	1	26
	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	7月		1		9	10
	むべの里居宅介護支援事業所	9月	3	54	12	198	267
株式会社 河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	1		21		22
	河村福祉サービス 海の家	4月		2	12	23	37
	河村福祉サービス 宇部南	4月	3		27	4	34
医療法人 博愛会	寿光苑指定居宅介護事業所	4月	4		69	5	78
	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月			12		12
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	10	2	301	150	463
一般社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	2		24		26
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月			23		23
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	1		6	12	19
合同会社 ひだまりねっと	合同会社 ひだまりねっと	4月			49	12	61
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	3		84	32	119
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月			34	12	46
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅支援事業所	4月	1		5	3	9
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	1	1	28	24	54
医療生活協同組合 健文会	虹の居宅介護支援事業所	4月			4		4
(有)アンステッ・ドリビング村重	山ぼうし居宅介護支援事業所	4月	1		22	33	56
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	1	2	57	14	74
有限会社 希	居宅支援事業所 のぞみ	4月	1		5	10	16
株式会社 愛優会	ケアセンター 未来	4月				12	12
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月				12	12
NPO法人 きょう・生	ケアマネセンター 共生	4月				24	24
株式会社 厚仁	居宅介護支援事業所 みのり	4月			24	2	26
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	2		35		37
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター 春	4月		2		15	17
社会福祉法人 アスワン山荘	アスワン山荘居宅介護支援事業所	4月			9		9
社会福祉法人 扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月			2	10	12
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業者 まどか苑	4月			3	10	13
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月			10	12	22
医療法人 太白会	シーサイド病院 居宅介護支援事業所	5月	1		6		7
合同会社 優勇会	総合ケアセンター ゆう	8月		1		14	15
<b>総計</b>	<b>36事業所</b>		<b>37</b>	<b>68</b>	<b>1,036</b>	<b>868</b>	<b>2,009</b>

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(西部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所厚南	4月	2	0	118	165	285
	むべの里居宅介護支援事業所住吉	4月	0	0	12	0	12
	むべの里居宅介護支援事業所中山	7月	2	0	11	9	22
	むべの里居宅介護支援事業所	9月	1	18	6	74	99
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	46	20	66
	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	6	1	160	59	226
株式会社 河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月	1	0	31	0	32
	河村福祉サービス宇部南	4月	1	1	8	16	26
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	2	0	14	0	16
	サンキ・ウエルビィ介護センター小野田	4月	2	0	14	0	16
一般社団法人 宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	0	0	0	11	11
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	0	1	0	1
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	1	1	12	20	34
株式会社 YICTラスト	居宅介護支援事業所 希望苑	4月	0	0	0	12	12
有限会社 希	居宅介護支援事業所 のぞみ	4月	2	0	11	0	13
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	1	0	9	0	10
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター	4月	0	0	0	8	8
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月	0	0	0	10	10
社会福祉法人 扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	0	0	12	0	12
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	12	24
社会医療法人 いち樹会	尾中病院居宅介護支援事業所	4月	2	0	18	0	20
株式会社 厚仁	居宅介護支援事業所みのり	4月	0	1	0	16	17
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター 春	7月	0	1	0	8	9
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	9月	0	1	0	5	6
NPO法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	1月	0	1	0	1	2
<b>総計</b>	<b>25事業所</b>		<b>23</b>	<b>25</b>	<b>495</b>	<b>446</b>	<b>989</b>

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(中部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	10	5	318	274	607
	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月			22	41	63
	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月	1		47	26	74
	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	1	1	107	50	159
	むべの里在宅介護支援センター厚南	4月			2	4	6
	むべの里居宅介護支援事業所東本町	4月			2	2	4
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月	2	1	65	33	101
	株式会社河村福祉サービス 宇部南	4月			13	18	31
	株式会社河村福祉サービス 海の家	4月		2	34	24	60
一般社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	1	1	109	55	166
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月			9	14	23
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月			122	126	248
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	2		82	32	116
合同会社 ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月		1	33	13	47
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月			14	7	21
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所まどか苑	4月			9	13	22
合同会社 和の会	なごみ居宅介護事業所	4月			4	12	16
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月				12	12
社会医療法人 いち樹会	社会医療法人尾中病院	4月	2		13	19	34
医療法人 和同会	宇部西在宅介護支援センター	4月			41	12	53
合同会社 HACHAMATATA	ケアマネステーションfun to life	4月			12	3	15
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月			23	12	35
株式会社 きわなみ	きわなみ居宅介護支援事業所	4月				12	12
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	10	4	107	60	181
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	1		12		13
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月			24	17	41
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	1	1	19		21
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	1				1
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月			22	14	36
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所宇部あいおい苑	4月			1	11	12
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	2		32	12	46
サンキウエルビー株式会社	サンキウエルビー介護センター宇部	4月			10	2	12
株式会社 YICTラスト	居宅介護支援事業所希望苑	4月				7	7
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	8月			1		1
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	11月	1		4		5
<b>総計</b>	<b>35事業所</b>		<b>35</b>	<b>16</b>	<b>1,313</b>	<b>937</b>	<b>2,301</b>

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(中部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所厚南	4月	1	1	52	175	229
	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	2	1	117	49	169
	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	2	2	64	46	114
	むべの里居宅介護支援事業所東本町	4月	0	0	11	10	21
	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月	0	0	44	93	137
	むべの里居宅介護支援事業所	11月	0	11	0	23	34
株式会社 河村福祉サービス	株式会社 河村福祉サービス	4月	1	0	51	27	79
	株式会社 河村福祉サービス海の家	4月	2	1	53	52	108
	株式会社 河村福祉サービス宇部南	4月	2	2	37	67	108
医療法人 博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	5	0	79	28	112
	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	4	0	94	29	127
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	4月	2	0	17	0	19
	虹の居宅介護支援事業所	4月	0	0	2	10	12
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所 宇部あいおい苑	4月	2	2	37	7	48
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	0	6	0	6
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	3	1	70	41	115
株式会社YICトラスト	居宅介護支援事業所 希望苑	4月	0	0	0	18	18
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	3	5	43	130	181
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	1	0	15	0	16
社会医療法人 いち樹会	社会医療法人 尾中病院	4月	3	1	62	6	72
一般社団法人 宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	0	0	2	13	15
NPO法人きょう・生	ケアマネセンター共生	4月	0	0	12	12	24
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	4	0	96	34	134
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	1	1	40	35	77
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	37	40	77
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	3	1	43	12	59
合同会社 ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月	0	0	1	17	18
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	3	1	55	5	64
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	0	1	5	8	14
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	7	2	53	88	150
合同会社 ガンホーズ	指定居宅介護支援事業所たけのこ	4月	0	0	12	0	12
株式会社 ニチイ学館	ニチイケアセンター西岐波	4月	2	0	40	0	42
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月	1	0	20	10	31
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	1	0	5	12	18
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所まどか苑	4月	1	1	6	32	40

社会福祉法人 扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	0	0	0	2	2
株式会社 厚仁	居宅介護支援事業所みのり	4月	0	0	0	12	12
合同会社 美咲	居宅介護支援センター美咲	4月	1	0	18	5	24
合同会社 優勇会	総合ケアセンターゆう	6月	0	0	2	12	14
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	11月	0	1	8	0	9
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	12月	1	0	3	0	4
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	2月	0	0	4	6	10
NPO法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	2月	0	0	4	0	4
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	2月	0	0	2	0	2
<b>総 計</b>	<b>44事業所</b>		<b>58</b>	<b>35</b>	<b>1322</b>	<b>1166</b>	<b>2581</b>



令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(北部東包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護事業所厚南	4月	0	0	49	12	61
	むべの里居宅介護事業所中山	4月	0	0	1	0	1
	むべの里居宅介護支援事業所	12月	0	2	0	4	6
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月	1	0	22	0	23
	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月	1	0	6	0	7
社会福祉法人 アスワン山荘	アスワン山荘居宅支援事業所	4月	4	4	126	164	298
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	1	0	12	12	25
医療法人社団 山岸内科	ケアホーム小郡ケアマネセンター	4月	1	0	35	26	62
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	2	0	62	12	76
医療法人 泉仁会	在宅介護支援センター豊生苑	4月	5	1	134	55	195
社会福祉法人 扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	0	0	36	12	48
株式会社 愛優会	ケアマネセンター未来	4月	0	0	23	0	23
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	0	0	1	0	1
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	1	0	0	5	6
医療法人 太白会	医療法人太白会シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月	0	0	5	0	5
有限会社 希	居宅介護支援事業所のぞみ	4月	0	0	7	0	7
<b>総計</b>	<b>16事業所</b>		<b>16</b>	<b>7</b>	<b>519</b>	<b>302</b>	<b>844</b>

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(北部西包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人 扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	5	4	138	41	188
株式会社 愛優会	ケアマネセンター未来	4月	2	3	100	95	200
合同会社 希	居宅介護支援事業所のぞみ	4月		1	27	31	59
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月			12		12
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月			27		27
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月				1	1
合同会社 ブルーローズ	居宅介護支援事業所たいむ	4月			12		12
合同会社 優勇会	総合ケアセンターゆう	4月	1		47	23	71
医療法人社団 泉仁会	在宅介護支援センター 豊生苑	4月	1		16		17
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル居宅介護支援事業所	4月				12	12
有限会社 楽庵	ケアマネセンター楽庵	7月	2	5		16	23
<b>総計</b>	<b>11事業所</b>		<b>11</b>	<b>13</b>	<b>379</b>	<b>219</b>	<b>622</b>

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(南部第1包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	8	7	184	208	407
	むべの里居宅介護支援事業所東本町	4月				10	10
	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	1		24		25
	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月				12	12
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	4月	9	2	208	113	332
	虹の居宅介護支援事業所	8月			8	24	32
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月			24		24
	株式会社河村福祉サービス海の家	4月	3	1	46	37	87
社会福祉法人 アスワン山荘	アスワン山荘居宅介護支援事業所	11月		1		3	4
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	3		24	3	30
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	12月	1		3		4
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーションFun to Life	4月	2	1	20		23
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	2		14		16
NPO法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	2月	1		2		3
サンキ・ウエルビイ株式会社	サンキ・ウエルビイ介護センター宇部	4月				8	8
福祉生活協同組合 さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月			3		3
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	1		12	11	24
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月			12		12
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月			7	24	31
一般社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	1	1	27	14	43
合同会社 美咲	居宅介護支援センター美咲	4月	1		28		29
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所宇部あいおい苑	4月			22	13	35
合同会社 ひだまりねっと	合同会社ひだまりねっと	4月	1		29	1	31
合同会社 ガンホーズ	指定居宅介護支援事業所たけのこ	4月			12		12
社会医療法人 いち樹会	社会医療法人尾中病院	4月	1		36		37
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	2		66	23	91
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	1		24		25
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	1		31	17	49
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月			5		5
社会福祉法人 光栄会	日の山園在宅介護支援センター	4月				3	3
<b>総計</b>	<b>30事業所</b>		<b>39</b>	<b>13</b>	<b>871</b>	<b>524</b>	<b>1447</b>

令和元年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧(南部第2包括→居宅)

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
合同会社 いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	1	0	26	12	38
社会福祉法人 ひとつの会	宇部あいおい苑	4月	0	1	24	35	59
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	0	0	12	12	24
一般社団法人 宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	0	2	36	18	54
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1	0	21	0	21
医療法人 和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	0	0	0	12	12
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	1	1	102	36	138
株式会社 河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	1	0	29	12	41
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	3	0	25	9	34
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	0	2	120	107	227
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	4月	2	0	89	42	131
合同会社 かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月	0	0	46	12	58
株式会社 厚仁	居宅介護支援事業所みのり	4月	0	0	0	13	13
合同会社 ひだまりねっと	合同会社ひだまりねっと	4月	1	0	26	13	39
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	1	1	1	14	15
社会医療法人 いち樹会	社会医療法人 尾中病院	4月	2	0	34	0	34
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
医療法人 仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	0	0	143	91	234
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	0	2	24	106	130
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	3	3	140	71	211
社会福祉法人 むべの里	むべの里居宅介護支援事業所東本町	4月	0	0	19	18	37
社会福祉法人 むべの里	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月	0	0	11	0	11
サンキウエルビィ株式会社	サンキウエルビィ介護センター宇部	4月	0	0	8	0	8
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	1	1	4	10	14
合同会社 美咲	居宅介護支援センター 美咲	4月	0	0	25	1	26
株式会社 河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月	0	0	64	10	74
株式会社 きわなみ	株式会社 きわなみ	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人 光栄会	あすとぴあ光栄在宅介護支援センター	4月	0	0	0	12	12
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネステーションFun To Life	4月	1	0	11	0	11
株式会社 河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月	1	0	11	12	23
医療法人 太白会シーサイド病院	医療法人太白会シーサイド病院居宅介護支援事業所	7月	1	0	3	0	3
NPO法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	1月	2	1	5	2	7
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	1月	1	0	3	0	3
<b>総計</b>	<b>33事業所</b>		<b>23</b>	<b>14</b>	<b>1086</b>	<b>680</b>	<b>1766</b>

令和 2 年度（2020 年度）  
宇部市地域包括支援センター  
事業計画

# 令和2年度 宇部市地域包括支援センター事業実施方針

宇部市では、第7期宇部市高齢者福祉計画の中で、基本理念（目指すまちの姿）として「健康づくりに取り組み、高齢者が地域で活躍できる地域共生のまちづくり」を掲げています。

地域包括支援センターは、上記の基本理念を実現するために、地域の現状・課題を捉え、その課題を解決するために事業を実施することとします。

令和2年度本事業を実施するにあたり、地域包括支援センターは下記の重点施策に取り組みます。

## 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

- ・身近な地域のサロン等、地域の集まりの場を活かした健康づくりや介護予防教室等住民主体の取り組みを支援・推進する。
- ・生活機能の低下が見込まれる高齢者に対して、総合事業について十分説明し、高齢者が総合事業のサービスが利用できるよう適切にマネジメントを実施する。

## 2 認知症高齢者支援

- ・認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援等）
- ・認知症サポーターの養成や徘徊模擬訓練等により認知症の理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。

## 3 障害と介護の連携

- ・障害サービスから介護サービスに不安なく移行できるよう関係機関の連携により個別の対応を丁寧に進める。

## 4 地域支援体制の強化

- ・地域・保健福祉支援チームや生活支援コーディネーター等と連携し、地域課題に対応した支援や集いの場づくり、担い手の育成を支援する。
- ・地域ケア会議、地域ケア個別会議、地域支え合い会議等を活用した関係機関のネットワークの構築、支援力の強化、必要な地域資源の創出等への取組を行う。

## 5 包括的相談支援体制の強化

- ・窓口の周知に努め、高齢者だけではなく、子どもから高齢者まで複合的課題を抱える世帯からの相談に対応する。
- ・地域住民や関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行う。

## 6 障害者や子ども等の関係機関との連携の拡大・強化

- ・高齢者に関する関係機関のみならず、障害者や子ども等の関係機関との連携を拡大・強化する。
- ・保健・医療・福祉分野を越えた機関とのネットワークを構築する。

**重点施策** 1、5、6については必須とし、2～4については1つ選択とする

○指標は各地域包括支援センターが設定することとします。



令和2年度（2020年度） 地域包括支援センター事業計画 一覧表

地域包括支援センター名	重点項目（①は必須・②～④で1つ選択）			
	①地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進	②認知症高齢者支援	③障害と介護の連携	④地域支援体制の強化
東部第1	○	○		
東部第2	○	○		
西部第1	○	○		
西部第2	○	○		
中部第1	○			○
中部第2	○			○
北部東	○	○		
北部西	○	○		
南部第1	○	○		
南部第2	○			○

※具体的な取組内容については次項より掲載





# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市東部第一地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔東岐波校区〕

総人口は12,467人（R2.4.1現在）で市内24校区中3位である。高齢化率（H31.4.1現在）は32.6%で宇部市の高齢化率と同等である。高齢者及び認知症の方が増えてきており、若い世代の方の割合も増えてきているが日中は仕事等で見守る人が少ない。物理的環境面は金融機関や医療機関、スーパーは国道沿いに集中しており、国道から離れている地区は移動手段に困っている。買い物についてはまるきやコープの移動販売が参入しているところもある。コミュニティバスが運行しておりR2.2月からAIを使用した模擬運行もあり利用しやすいと言う声もあった。地域のサロン等の集う場所は増えてきているが、地域によってはサロン等に集う場がないところもある。障害施設もあり障害サービスから介護への移行に関する相談も増えてきている。

### 〔川上校区〕

総人口7,804人（R2.4.1現在）で市内24校区中10位である。高齢化率（H31.4.1現在）は26.4%で徐々に増加傾向となっている。新興住宅地の開発やUターン等で若い人が多く移り住む傾向にある。交通手段は、主に自家用車・バス・タクシーであるが、高齢者の中には外出手段がない場合もある。現在、複数の社会福祉法人が協力して地域内交通を運行している。また、校区の中心部は山間部を開発してできているため中心部に向かって坂道が多い。医療機関や介護事業所関係、買い物する場所や高齢者の集いの場が少ない。コープなどの移動販売を利用されている方も増えてきている。

## 目標（目指す姿）

- ・引き続き、サロン等の集う場など地域の中に積極的に入り地域の課題の発見に努めるとともに、地域の保健・福祉・医療の専門職や地域・保健福祉支援チームをはじめ民生委員、ボランティア等地域福祉を支える様々な関係者と連携を図っていく。
- ・地域住民主体で地域住民が気軽に立ち寄れる集いの場を増やせるようにサロン等の立ち上げ支援を行う。
- ・地域住民が認知症に対する理解ができ地域で安心して生活できるように見守り体制や地域住民同士で支えあえる仕組みを作る。
- ・地域住民に健康づくりのための運動や講話、情報提供等を行うことで介護予防の意識を高める。

## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
既存のサロン（6か所）や同法人が行っている教室（2か所）への参加継続。 地域住民が集う場にて健康づくりや介護予防について啓発する。（両校区2か所以上） 地域のまつりや金融機関や店舗等の協力を得て血压測定などの健康チェックや健康相談の実施。
事業計画（具体的な取組）
・サロンや教室等や地域住民が集う場を活かして健康チェックや健康福祉に関する生活相談を行う。 ・何でも相談員、地域・保健福祉支援チームや社会福祉協議会、民生委員、福祉委員等と定期的に情報交換を行い新たなサロンの立ち上げ支援を行う。 ・地域・保健福祉支援チームと協働して店舗での看護師や保健師、社会福祉士、介護支援専門員による健康や福祉、生活等に対する相談対応や地域の課題等を把握する。 ・今後も継続して生活機能が低下している高齢者に対してパンフレット等を用いて介護保険制度や総合事業について説明し適切にサービスが利用できるような支援していく。

### 2 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

成果指標
認知症があっても地域で安心して暮らせるように地域住民に対し認知症に対する理解を深めていく。認知症サポーター登録者数300人を目標。 既存の認知症カフェ開催の協力（2か所）や新たなカフェ開催について検討。（両校区1回以上）
事業計画（具体的な取組）
サロン参加者や地域住民、小中学校等を対象として認知症サポーター養成講座の実施し認知症に対する理解や知識を深める。 認知症の方やその家族の集いの場や相談窓口として認知症カフェ開催の協力や新たなカフェの開催ができるよう関係機関と調整を行う。 認知症が疑われる方に対し早期に対応し適切な機関に繋げるようにケアマネジャーや民生委員、医療機関等と定期的に情報交換を行う。

## ○その他の取組

### 2 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
引き続き、障害サービスから介護サービスへスムーズに移行できるように障害圏域相談事業所や関係機関と情報交換や連携・調整を図る。また、障害福祉制度に関する知識不足や経験不足もあるため研修会への参加や地域ケア会議などで事例を通して理解を深めていく。

### 2 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
昨年度に引き続き地域・保健福祉支援チーム・社会福祉協議会と協働、また福祉なんでも相談担当者等と連携し地域ケア会議や個別の地域ケア会議等で地域課題の抽出を図り必要な支援や社会資源の創出に取り組む。コンビニやスーパー、美容院等の新たな関係機関のネットワークの構築を図り見守りや支援体制を強化していく。

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市東部第二地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔西岐波校区〕

高齢化率が高く、高齢者人口が多い地域（宇部市1位）ではあるが、地域住民間の連帯感が強く、関係団体（民生委員、自治会、校区社協等）の連携が強い地域である。地理的には、沿岸に近い場所では台風時等には水害に遭いやすい地区や、車両が進入できない程、道幅が狭い場所があり、災害時における擁護者への対応が求められる。人口密度に地域差があり、床波地区中心部では買物場所や医療機関、公共機関が揃っているが、中心部以外では人口や買物場所等が少ない場所がある。医療機関については、総合病院を中心に往診医による往診体制が整備されている。交通については、バスの便数に限りがあり、総合病院やかかりつけ医へ受診する場合に、乗継ぎが必要になる場所がある。西岐波ふれあいセンターを中心に地区行事が多く開催されるが交通手段がない為に参加できない高齢者が存在している。校区内に高齢者が集える場所がさらに必要である。関係機関の地域支援者が高齢化となっており、次世代支援者への後継が必要となってきた。

### 〔常盤校区〕

新興住宅街もあり、比較的若い世帯が居られる地域。関係機関の地域支援者についても、西岐波と比較すると30～40代の若い支援者がいる。地理的には海拔が低い地域があり、水害に遭いやすい場所がある。特徴としては大きなスーパーがなくコンビニが点在している。買物は西岐波・恩田等に車両にて買い出しに行かれている人が多い。ご近所福祉活動（イイコトメイ）が積極的に活動され、高齢者が集まる場所となっているが、通う交通手段がない為に参加出来ない高齢者も居られ、他地域でもご近所福祉活動等の高齢者が集える場所が必要と思われる地域がある。医療機関においては、往診可能な医療機関がなく、西岐波等の医療機関に通院したり、往診を受けている状況がある。今後の高齢者支援において、地域において介護健康教室を実施したり、介護保険利用や行政サービス等、住民に向けた情報提供の場が必要である。住民（高齢者・子育て世代）へ個別健康相談の場を提供し、今後高齢化が進む地域にて、認知症サポーター養成講座を実施していく。

## 目標（目指す姿）

高齢者数が多く、今後も高齢者人口が増える圏域である為、住民へ介護予防や健康づくりに関する知識を提供し、意識向上を図る。また高齢者を地域で見守り・支え合う体制を構築し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることが出来る圏域を目指す。

各種相談を総合的に応じ、より適切なサービスの調整が行えるよう、地域の中での活動を活発に展開し、より身近な相談窓口としての体制づくりに取り組む。周知活動を実施し、地域における様々な社会資源及び関係機関とのネットワーク構築に努める。

高齢者や障害者が住み慣れた地域で暮らし続けることが出来る地域づくりを推進していく。前期高齢者等へ介護予防や健康づくりに対する知識の提供等、普及啓発活動を実施し、地域住民が主体となった健康予防や健康づくりに取り組む場の創出について取り組む。

### 〔目標〕

- ・介護健康教室、健康相談窓口の開催：地域住民を対象とした介護予防・健康づくりに関する知識の提供、普及活動に取り組む。
- ・周知活動 校区1000名以上：センターの機能について住民や各関係機関へ周知活動を行う。チラシ等を活用し、住民サロンや各団体会合等へ参加し周知活動を行う。
- ・地域（団体・支援者）との情報共有 各校区10回：自治会連合会、コミュニティ、民生委員協議会、サロン等に参加し、校区の高齢者人口や高齢化率等の基本情報について情報共有する。個別課題や地域課題解決に向けたネットワーク構築を行う。

## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・介護健康教室、健康相談窓口の継続開催 参加者数500名</li><li>・地域サロン教室などあらゆる場面を活用した新総合事業の普及啓発</li><li>・広報誌を年3回発行し、各関係団体とのネットワーク構築を行う</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民を対象とした介護予防・健康づくりに関する知識の提供、普及啓発に取り組む。</li><li>・看護師による介護健康教室を継続実施し、介護予防普及活動に取り組む。店舗を活用した健康チェック等を実施し、地域住民の身近な相談場所の提供を行う。</li><li>・身近な地域のサロン等、地域の集まりの場を活かした健康づくりややまぐち元気アップ体操等住民主体の取り組みを支援・推進する。</li><li>・支え合い会議を活用しながら、地域サロンなど地域の集まりの場の創出や地域主体の取り組み、有償ボランティア立ち上げ支援について支援を行う。</li><li>・地域サロンや校区行事、各関係団体との集まりの場を活用した新総合事業普及啓発を実施。</li></ul>

### ② 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症サポーター養成講座 登録者数400名以上（両校区 1回以上）</li><li>・認知症カフェ設立に向けた取り組み 各校区1箇所</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・両校区において、認知症サポーター養成講座を開催することにより認知症の理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。市と連携し、小中学校における認知症サポーター養成講座の開催に協力する。</li><li>・認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため早期の相談や家族の支援体制を強化する。地域拠点における新たな相談窓口の設置や校区内において認知症カフェを行い、認知症の方や家族、支援者が集まって悩み等を話せる場を作る。</li><li>・支え合い会議を活用しながら各関係団体と連携を図り、地域の見守り体制構築に向けた取り組みを実施していく。</li></ul>

## ○その他の取組

### 2 認知症高齢者支援

### ③ 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・東部地域ケア会議（東部ブロック会議）を年12回開催し、「医療・福祉・障害の連携」をテーマに支援者間で情報共有を行い、障害サービスから介護サービスへの移行できるよう関係機関との連携を図る。民生児童委員と関係機関との意見交換会を年1回実施し、高齢者や障害者が地域で安心して過ごせるよう見守り支え合う体制づくりに取り組む。</li><li>・圏域の民生委員協議会や自治会等、関係者連携会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る。</li></ul>

### 2 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### ④ 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域団体代表者による「支え合い会議」を継続開催し、地域のネットワーク構築を行う。地域ケア個別会議による個別ケースの検討について積極的に行い、地域課題や効果的な取り組み、手法等について広く共有することにより、地域全体の支援やケア力の向上を図る。</li><li>・社会福祉協議会や地域保健福祉支援チームと連携し、市の健康づくり事業に参加協力する。</li><li>・民生委員協議会等、関係者連携会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る。</li></ul>

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市西部第一地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔西宇部校区〕

高齢化率 H30年4月33.8% H31年4月35.1%

自治会毎に人口が大きく異なっており、高齢化率にも大きな違いがあるなど、抱える課題も異なっている状況がある。

課題①地域コミュニティ（人間関係）の希薄化

- ②高齢化の進行
- ③子どもの健全育成
- ④障がいのある人への配慮

### 〔厚南校区〕

高齢化率 H30年4月30.5% H31年4月31.5%

認知症に対する取り組みが少ない、主導者及び後継者不足が継続している状況である。

課題①人口減少、高齢化の進行

- ②少子化が継続
- ③核家族化が一層すすむ
- ④地域の活力低下
- ⑤若年層や子育て世代の地域活動への参加が少ない

## 目標（目指す姿）

- 地域住民にとって身近な窓口として気軽に立ち寄れる場所、「断らない窓口」を目指す。
- 地域住民や関係機関と連携を図りながら、住みたい場所で安心して、いきいきと暮らせるまちをつくる。
- 支え・支えられる関係の循環を目指し、誰もが役割と生きがいを持つ社会を目指す。
- 家族のつながりや地縁が希薄化する中で、公的サービスに加えて集いや見守りといった助け合う機能を地域で構築する。

## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
健康づくり・介護予防活動の支援 3回 新たな相談、啓発の場づくり 1ヶ所
事業計画（具体的な取組）
○地域で介護予防に取り組んでいる、あるいは取り組もうと考えている自治会等、既存の集いの場に赴いて活動支援、啓発を行う。 ○厚南市民センター地域・保健福祉支援チームと協働で相談、啓発の場を設け、健康や介護予防への意識づけを行う。

### ② 認知症高齢者支援                      3 障害と介護の連携                      4 地域支援体制の強化

成果指標
認知症サポーター養成講座 3ヶ所 （30名）
事業計画（具体的な取組）
○認知症の理解を深めるため、関係機関と地域住民に対して認知症サポーター養成講座などを引き続きおこない普及啓発を行う。 ○早期に気づき支援するため、医師や認知症初期集中支援チームなどの専門職と協力し、併せて家族支援も行う。 ○認知症SOS模擬訓練、認知症カフェ（おれんじかぞく）の継続。

## ○その他の取組

### 2 認知症高齢者支援                      ③ 障害と介護の連携                      4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
○障害との合同ブロック会議を高年齢者総合支援課と共催。 ○障害の特性や制度を理解するため保健医療福祉関係者に向け研修を行う。 ○福祉なんでも相談窓口を活用し、共生社会づくりの推進を図る。

### 2 認知症高齢者支援                      3 障害と介護の連携                      ④ 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
○地域の人たちや地域の団体（民生・児童委員、校区福祉委員、地区社会福祉協議会、自治会連合会等）関係機関（市社会福祉協議会、地域・保健福祉支援チーム、ふれあいセンター、医療機関等）と協議を行う場（地域支え合い会議）を定期的または不定期で設ける。 ○西部ブロック会議（地域ケア会議）を活用する。

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市西部第二地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔黒石校区〕

・黒石校区の高齢化率は22.3%と市内で最も低く、比較的若い世代が多い地域である。大型商業施設を中心に、マンションや住宅地が広がり、新しい住民と旧来の住民が混在しており、地域によっては近隣住民の関係性の希薄化や、地域コミュニティを支える担い手不足が問題である。

### 〔原校区〕

・原校区は、隣接校区や小野田市街地に足を運ぶと、大型商業施設や病院が充実しているが、校区内には社会資源が少ない。高齢化率は34.2%で、年々上昇している。平成27年10月から広場等を活用しての移動販売が開始になり、現在は参入事業所も増え、個人宅での販売も行われるようになった。また平成29年7月からコミュニティタクシーが開始し、令和元年からは、住民の要望によりルートや停留所の充実が図られている。しかし、依然として買物や通院等が困難な高齢者の孤立化が心配される。

## 目標（目指す姿）

・地域住民が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、福祉なんでも相談員とともに、地域の各種団体、地域・保健福祉支援チームと協同し、地域の実情や課題の共通認識を深め、解決に向けた取り組みを実施していく。

・介護予防の視点【①高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐ ②要支援・要介護状態になっても、状態がそれ以上に悪化しないようにする】を持ち、地域における啓発活動や活動の場づくりを行う。

・地域ケア会議や困難事例の対応、研修会の開催を通じて、支援者間のネットワーク構築や介護支援専門員の実践力向上の支援を行う。



## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・健康教室等、地域の集まりの場を生かした介護予防の取り組みを実施する。</li><li>・新規相談時や更新時に総合事業について説明を行い、本人の希望や状態に応じ適切なサービスの利用につなげる。</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・5か所の健康教室で、体操や体力測定等を行い、運動機能向上を目指す。</li><li>・地域行事、健康教室等で健康診断の受診を促すことで、健康づくりの意識付けを行う。</li><li>・サロンや健康教室等、地域住民が集まる場所で、総合事業の説明を行い、普及・周知活動に努める。</li></ul>

### ② 認知症高齢者支援                      3 障害と介護の連携                      4 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域の方を生かした見守り体制の充実を図る。</li><li>・認知症高齢者やその家族の身近な相談窓口として、早期相談につながるよう、周知活動を行う。</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会および中学校で、黒石見守りネットワーク推進協議会や地域・保健福祉支援チームと、認知症サポーター養成講座を開催する。</li><li>・黒石見守りネットワーク推進協議会や地域・保健福祉支援チームと、消費者被害に関する研修会を行う。</li><li>・認知症カフェ（おれんじかぞく）を年2回開催する。</li><li>・健康教室で、認知症に関する講話を実施する。</li><li>・各地域行事や健康教室等でパンフレットを配布しPRを行う（10ヶ所以上）</li><li>・個別の相談に速やかに対応し、医療との連携や介護保険サービスの提供等につなげる。</li></ul>

## ○その他の取組

### 2 認知症高齢者支援                      ③ 障害と介護の連携                      4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・関係機関との連携を図り、障害サービスから介護サービスへの円滑な移行や、複数の課題を抱える家族への支援等を行っていく。</li><li>・介護サービスや障害サービスの柔軟な活用に向けて、研修や勉強会を通じて、職員の知識を深める。</li></ul>

### 2 認知症高齢者支援                      3 障害と介護の連携                      ④ 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民、地域・保健福祉支援チーム、関係機関と連携し、誰もが安心して暮らしやすい、地域の実情に応じた支え合いの体制づくりを行う。</li><li>・地域の課題を見いだせるように、地域ケア会議（毎月）、地域ケア個別会議（年3回以上）を行う。</li></ul>

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市中部第一地域包括支援センター

現状・課題
<p>〔宇部市〕</p> <p>前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。</p>
<p>〔小羽山校区〕</p> <p>小羽山校区の人口は6,739人 高齢化率は33.7%である。集合住宅が多く、生活実態をつかむ努力に今年も力を入れたい。生活保護率も高く130世帯である。生活保護ワーカーとも一緒に仕事をしていきたいと考える。経済的不安定さは多くの生活の問題に拡大される。地域に出向くことを大切に「顔の見える関係」を大切にする。</p> <p>民生委員・福祉委員・自治会長とつながりが持てるようにこまめな声掛けを行い、地域の暮らしの中で人が支えられるような仕組みを日々の実践から組み立てる。</p>
<p>〔上宇部校区〕</p> <p>宇部市発祥の地である。積極的な地域活動をされ、上宇部校区の人口は13,627人 世帯数310世帯 高齢化率30.8%宇部市の中では人口は多いが、高齢者のみの世帯も多い。生活保護受給者も多く310世帯430人おられるので関係機関と連携を取る。</p> <p>地域の行事の見守り研修会、ふれあい昼食会、健康上宇部21など地域行事に高齢者と中学生の世代交流事業を大切にする。</p> <p>地域の課題は何かを総括できる1年でありたい。</p>

目標（目指す姿）
<p>宇部市、関係機関と包括支援センターが報告・連絡・相談を行うことを大切に、事業運営を行うように努める。</p> <p>地域住民の心身の健康保持や健康づくり、介護予防の推進をおこなう。</p> <p>地域包括支援センターの基本的考え方や理念に基づき運営をする。</p> <p>①公益性 中立性の高い事業運営を行う</p> <p>②地域性 地域の特性を大切に地域の中で包括が上宇部・小羽山校区の暮らし状況を知り支援を組み立てること</p> <p>③協働性 関係機関同士がお互いの仕事を理解すること。今年度は民生委員・自治会長・福祉委員と一緒に地域中で活動する。共通の体験や時間の共有からお互いが歩み寄れる、包括支援センターが地域の中に溶け込める工夫をする。</p> <p>中部第1は、開設当初から地域との「顔の見える関係づくり」伝統を受けつぐ。</p> <p>各校区の行事に参加をする。</p> <p>地域の実態把握の中で、今年度は「孤独」が人の暮らしにどのような影響を与えるのかを模索したい。困難事例が増え続け時間や課題が多い方に対しては支援者の数を増やすことで、支援の継続性につながり多様な価値観や地域の実態や特性を把握する。</p>

## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
地域住民が足を運びやすい場所を利用して、介護予防教室を開催する。ららら健康教室を今年度も引き続き継続したい。 子ども食堂を毎週行い、地域の子どもたちが安心・安全に過ごせる場所作りを行う。貧困や教育の格差抑制の一助として取り組む。
事業計画（具体的な取組）
・地域で長く生活してもらうために、介護予防や総合事業とは別に包括で地域向けのセミナーを月1回行う。その中には、「オレオレ詐欺」や「高齢者の運転の危険」など市民の人に認知してもらわなければいけない講座を設ける。 ・子ども食堂を行い、子ども同士やふれあいと親子で参加して出来る、素麺流しやクリスマス会、バーベキュー大会など子どもも親も一緒に楽しめる世代交流行事を提供する。 ・地域行事には積極的に参加をし、講師依頼等あれば地域に出向く。

### 2 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### ④ 地域支援体制の強化

成果指標
・「地域ケア会議」を10件行う。 ・民生委員・自治会長など地域の方、生活支援課、障害福祉課、地域・保健支援チーム・高齢者総合支援課のスタッフと一緒に同行訪問をする。（30件） ・民生委員・自治会長・コンビニや郵便局 地域の方からの、相談の電話 （30件）
事業計画（具体的な取組）
・なんでも相談員との連携で、地域で暮らす独居の方やごみ屋敷になどから地域での見守りが必要な関係機関と結びつける。 ・地域ケア会議を行う。「顔の見える関係」を大切にする。 ・地域住民からの相談や自治会の役員・民生委員との連携を通じて、地域課題を理解し、地域福利や取り組みを考える。 ・生活支援課・障害福祉課・地域保健支援チーム・高齢者総合支援課等に報告・相談・連絡をし地域課題を共通認識とする。

## ○その他の取組

### ② 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
・認知症サポーター養成講座を、昨年度に引き続き中学校で行うようにする。 校区の小学校等にもサポーター養成講座を新規で行う。 ・るるるカフェを行い、認知症に対する周知活動を行うようにする。（2回） ・認知症に対する講師依頼は積極的に受け入れる。

### 2 認知症高齢者支援

### ③ 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
・障害サービスから介護サービスへ移行出来るように関係機関との連携を図る。 ・民生児童委員と関係機関との意見交換会を年1回実施する。 ・障害関係機関と一緒に関わることで情報共有を丁寧に行う。基本的な支援内容や制度の学びなおしを行う。

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市中部第二地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔新川校区〕

高齢化率は27.96%（H31.4月）市内で3番目に若い地域となっています。しかし地区全体としては、人口・子供の数とともに増加傾向ではあるが、地区の中央を横断している市道小串通り鍋倉線（産業道路）を境にして、南側（中心市街地を含む地域）と北側、個別の自治会を構成しているマンション等それぞれにおいて人口減少、少子化、高齢化が進行しているなど地域内で大きな違いのある校区です。H27年度より支え合い会議を不定期で開催、アンケート実施（515世帯）課題の抽出したが解決策まで至らずH29年度より山口大学 長谷先生の助言を頂きながら全世帯へアンケート実施・分析・課題抽出。住民茶話会3か所実施、R元年度に社会資源マップ（お買い物編）作成、配布。今後も課題解決に向け検討していく予定である。

### 〔鵜の島校区〕

高齢化率35.24%（H31.4月）24校区中9位、少子高齢化が進行している地域である。地域の人口は減少傾向にありますが、伝統文化や歴史などを軸に地域の方が交流できるような行事等を実施されている校区です。H27年度より支え合い会議を不定期で開催。H28.8月にアンケート実施、課題の抽出するも解決策には至っていない状況である。高齢化が進む中、役員等の担い手が不足の状況であるが地域行事は校区全体で協力し開催されている。昨年度は鵜ノ島小学校の資料室にてサロンを3回開催、学校の休憩時間には児童と高齢者の交流の場となりました。今後も継続して子供から高齢者まで地域で集える場を増やしていけるよう関係機関との連携を図っていきます。

### 〔藤山校区〕

高齢化率30.34%（H31.4月）市内で4番目に若い地域となっています。地域内にJR宇部線と小野田線、国道190号線が通り、車の往来も激しく、南側は工場等が立ち並んでいます。また文京町を中心に大学、短大、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、保育園など教育機関等が充実している文教地区となっています。校区行事は年2回（さくら祭り、藤山ふれあい祭り）参加し体力測定を行っている。健康意識も高く50名以上の方が測定されている。藤山サポート会（有償ボランティア）は校区にも周知されており、定期的に利用されている方もおられる。支え合い会議については、現在も開催できていない状況である。

## 目標（目指す姿）

- ・3校区の地域力の違いはありますが、民生委員・自治会長、福祉なんでも相談員、関係機関との連携を図り、地域住民が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、課題解決に向けて取り組んでいきます。
- ・健康づくり、交流の場が増えることで社会参加ができ、介護予防・認知症予防に繋がるように地域の方と関係機関と連携し支援していくことを目指します。

## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域のサロン、健康教室、地域の集まりの場を生かした介護予防の取り組みを実施。</li><li>・相談受付時に介護予防・日常生活支援総合事業について十分説明を行い適切なマネジメントに繋げていく。</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域のサロンや健康教室、地域の集まりの場で介護予防・健康づくりに関する情報を提供していく。</li><li>・地域サロンや地域住民が集う場所で、介護予防・日常生活支援総合事業の説明を行い普及・周知活動を行う。</li></ul>

### 2 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### ④ 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・支え合い会議等に参加し、地域課題に対する支援、集いの場づくりや担い手の育成について協議を行っていく。（年間10回）</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域・保健福祉支援チームや関係機関と連携し、地域支え合い会議等に参加していき、地域課題の抽出、解決に向けた取り組みや対策について協議していく。 各校区の民生委員、自治連、コミュニティ推進会議等に参加し、地域の実情を把握していく。</li><li>・集いの場とその担い手の育成等、地域で見守っていく支援体制の構築に取り組んでいく。</li></ul>

## ○その他の取組

### ② 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
認知症について学ぶ機会をつくり、認知症高齢者やその家族が安心して暮らせる地域づくりを行う。 認知症サポーター養成講座を行い、認知症の方に寄り添いながら対応ができるような見守り体制づくりを行う。

### 2 認知症高齢者支援

### ③ 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
障害サービスから介護サービスへスムーズに移行できるように、障害圏域相談事業所や関係機関と連携し情報共有、支援していく。 障害福祉制度の理解、移行をスムーズに行うためにも、研修・勉強会を通して職員の知識を深めていく。

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市北部東地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔厚東校区〕

・厚東校区はコミュニティ推進協議会、自治会連合会、NPO法人厚東ネットが中核となり、市内でも先駆的な地域づくりを推進している地域である。特に子育て支援については、厚東ひだまり教室が平成17年度文部科学省第1回放課後子ども教室推進表彰を受けている。また、厚東小学校コミュニティスクールが平成23年度文部科学大臣賞をそれぞれ受賞しており、全国的にも高い評価を受けている。しかし、人口の推移を見ると、過疎化が進行しており高齢化率も上昇すると予想され、地域活性化を推進するためには、地域の担い手や農業の後継者不足の解消、空き家、耕作放棄地等の有効活用などが課題となっており、それぞれの団体による協議が進められている。

### 〔二俣瀬校区〕

・二俣瀬校区は厚東川ダム、丸山ダム、桜づつみ公園、里山ビオトープ、駒の頭遺跡、ふれあい市場など多くの地域資源に恵まれており、社会福祉法人・医療法人等、校区内の法人の支援を積極的に受け入れ、法人と住民との交流も盛んな地域である。一方人口の推移を見ると、過去10年間で400人以上減少しており、今後も人口減少、高齢化が進むと予想される。そのため、農業の担い手不足も深刻となっている。また、南北に国道490号、東西に国道2号という2本の幹線道路による安全面、また、騒音や振動など生活面での不安を抱えると同時に、善和から割木松までと縦と横の距離が長く、交通の便が悪いため、高齢者の交通手段が常に課題となっている。この件については地域の法人が一人世帯や高齢者世帯を対象におでかけや買物などの外出支援を行っているにも拘らず不便だと感じる思いがいつまでも解消されず課題にあがっている。こういった問題を地域団体役員も感じているが、会合の増加や役割への負担増が懸念される。

### 〔小野校区〕

・小野校区は、小野茶園やアクトビレッジおのを活用し、市内外からの交流人口は大変多い地区である。しかしながら人口の推移は過去10年間で350人以上減少しており、市内で2番目に高い高齢化率となっている。中心市街地より27kmの中山間地域であるこの地区には近くに医療施設がないことや医療施設までの移動手段などの課題抱え、住民は医療福祉に不安を抱いている。今後も過疎化の進行により、担い手不足による耕作放棄地の増加や空き家の増加、また、高齢化により伝統行事や共同作業が困難になるなど、地域の機能が低下してきている。それらの課題について、①地域資源の発掘と活用②地域福祉の活動や安全安心③子育て支援④移住定住を促す地域産業の振興等に分類し地域団体による協議が進められている。

## 目標（目指す姿）

・各校区のサロンについては、3校区とも人口に対するサロン数は、厚東：6ヶ所、二俣瀬：5ヶ所、小野：4ヶ所と非常に多い。サロンを含む集いの場の継続維持を支援していきたいと考えている。  
・中山間地区の移動手段の困難問題については、市民センターへ来所することも困難な地域も出てきている。事情として、交通網の利便性が悪くなったためでもあるが、免許返納を促す時代の流れも背景にある。ますますコミュニティへの参加者は減少する状況である。そのような中で介護予防・健康づくりを進めるためには、「徒歩でも参加可能な単位」について検討していく必要があると考えている。各集会場での進んで参加が見込める「健康教室」や「ミニスポーツ大会」等を企画し、楽しめる介護予防・健康づくりに取り組んでいく。

・認知症に関しての講座や周知活動を支援チームと連携し行う。また職員が認知症の理解と見守りの重要性について啓発を行うために、積極的に研修へ参加し専門知識を深めスキルアップを行う。

・人口減少、高齢化、集落機能の脆弱化という問題に直面している北部地域の課題改善への取り組みについて既に策を講じている校区、現在は協議段階の校区と、それぞれの事情により異なる。当センターでは地区担当者制を採用し地域活動に参加するなど日頃から地域に溶け込み距離を縮め、地域の実情に合わせた「支え合い会議」の進め方を行っていく。

《厚東》ふくし連絡票とチェックシート(厚東様式)に関して説明を行い、活用する中で高齢者の見守りを重点において更に協議していく予定である。

《二俣瀬》移動手段としてデマンドバスの有効活用について更に協議を行い、試験的運行にも取り組んでいく。

《小野》空き家管理サービスに関して更に協議を行う。また有償ボランティア団体に関してのアンケートを実施し、周知活動と利用状況の把握を行う。

・これらの活動を通じて、当センターがますます身近な存在として地域に浸透していくものとする。

## 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
介護予防・日常生活支援総合事業についてパンフレット等を用いて十分な説明を行い適切なケアマネジメントに繋げていく。閉じこもり・不活発のリスク等介護予防の重要性を講話により伝えていく。楽しく取り組める介護予防を目指し、校区毎でサロンを中心としてミニスポーツ大会を開催できるように取り組む。校区毎1回。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・前年度に引き続き、支援チーム・地域団体と共同企画し地域行事やサロン等でスポーツ体験講座を開設する。</li><li>・ミニスポーツ大会へサロンに参加していない住民も参加できるようにチラシ等の配布を行い、アプローチを図る。</li><li>・高齢者施設やサロンへのポッチャ、ラダーゲッターの体験出前講座。</li></ul>

## 2 認知症高齢者支援

成果指標
地域の多くの人に認知症について正しい知識をもってもらおう。本人もその家族も安心して暮らせる優しい地域を支援チームと連携しながら目指す。当センター職員が認知症に対する専門知識を深めるために積極的に研修会等へ参加し、スキルアップを図ることで認知症講座を開催できる体制を作る。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・支援チームと連携しながら、地域のサロン等へ認知症についての出前講座など周知活動を行う。</li><li>・当センター職員がキャラバンメイト養成研修へ参加する。</li></ul>

## ○その他の取組

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ふくし連絡票とチェックシートを活用し、高齢者の見守りに重点を置き協議を行う。（厚東）</li><li>・移動手段としてのデマンドバスを活用した試験的運用と協議を行う。（二俣瀬）</li><li>・アンケートによる情報収集を行う中で周知活動と利用状況の把握を行う。（小野）</li></ul> 以降、協議を重ねていく。

### 3 障害と介護の連携

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・まずは研修等に積極的に参加しセンター職員が制度の理解を深めていく。</li><li>・対象者やその家族が障害福祉サービスから介護保険サービスへ不安なく移行できるよう、関係機関と連携しながら丁寧に対応していく。</li><li>・ケアマネジャーが不安なく移行できるよう、研修会を開催するなど制度の情報を提供していく。</li><li>・福祉なんでも相談員と連携する。</li></ul>

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市北部西地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔船木校区〕

船木校区ではH26年孤独死4件の発生を契機に、孤独死ゼロを目標にH27年支え合い会議がコミュニティ推進協議会を中心に始まった。高齢者の見守り強化として、事業所による「船木あったか見守りネットワーク」は44事業所まで拡大できており、各自治会による「ゆるやかな見守り体制」構築も推進できている。今後は、地域住民への認知症への理解や民生委員との連携強化に努め、さらなる見守りの質の向上を目指す。また、「有償助け合いサービス」や「魅力ある集いの場づくり」の推進も課題となっている。

### 〔万倉校区〕

高齢化率46.1%と高齢化が急速に進んでいる。コミュニティ推進協議会の組織内である健康福祉部会では2回/月のスポレクや小学校の行事では健康チェックを行うなどの健康づくりの啓発を行っている。中心部では盛んに活動している一方、それ以外の過疎地では参加が減り、サロンの存続が難しい箇所も出てきたり、集いの場へ参加できない人の孤立化も課題となっている。また、認知症の相談件数も増えてきており、地域住民への認知症に対する啓発も必要になってきている。

### 〔吉部校区〕

2人に1人が65歳以上と少子高齢化も加速度的に進み、自治会は限界集落が多い。地域活動も高齢化し組織の存続も厳しい状況になっている。独居高齢者も多い中、有償助け合いサービス「吉部ふれあいサポート」は、高齢者のちょっとした困りごとが解消され、見守りにもつながってる。しかしながら、まだまだ受診や買い物に行く交通手段がないことが課題となっている。また、認知症への理解も乏しい。

## 目標（目指す姿）

3校区とも高齢化率は進んでおり、社会資源も少ない。住み慣れた地域でできるだけ長く過ごせるように、元気な高齢者を担い手とする支え合いのシステムを構築していく必要がある。地域団体や事業所、関係機関と連携を図り、介護予防や健康づくり、認知症に対する理解の取組を行い、地域共生社会を目指す。



## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・サロンや集いの場に積極的に参加し、健康づくりや介護予防の推進を行う。</li><li>・地域の団体と連携し、健康づくりの取組を行う。</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・いきいきサロンへ積極的に参加し、介護予防講座等を行う。（15回/年）</li><li>・地域のイベントでポッチャ大会を行う。（1回/年）</li><li>・昨年より始めた「にしざいかふえ」（5回/年）で体力チェックなど健康づくりの場を提供する。</li><li>・「こもれびの郷相談会」（5回/年）、「山銀出張相談会」（6回/年）で健康相談や総合事業の周知活動を行う。</li><li>・万倉健康福祉部会や体育振興会などと連携し、健康づくりの推進を図る。</li></ul>

### ② 認知症高齢者支援                      3 障害と介護の連携                      4 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症サポーター養成講座の開催（各校区1回以上）</li><li>・認知症カフェの開催と周知（6回/年）</li><li>・認知症SOS模擬訓練の開催</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症サポーター養成講座は地域住民向けと小学生向けを開催し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らせる街づくりを目指す。</li><li>・認知症カフェの開催においては、圏域内の他事業所と連携を取りながら、気軽に話せる環境をつくる。</li><li>・認知症SOS模擬訓練については、すでに認知症サポーター養成講座を行った団体に対して開催支援を行う。（1回以上）</li></ul>

## ○その他の取組

### 2 認知症高齢者支援                      ③ 障害と介護の連携                      4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・障害から介護保険へスムーズに移行するために、障害事業所と連携を図る。</li><li>・複合的課題への支援について障害の圏域事業所と福祉なんでも相談員とで定期的なケース会議を行う。</li><li>・介護の日のイベントなどを連携して開催する。</li></ul>

### 2 認知症高齢者支援                      3 障害と介護の連携                      ④ 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の団体や地区社協、支援チームと連携し、支え合い会議の開催を継続する。</li><li>・金融機関や店舗など地域の事業所とネットワークの構築を図る。</li><li>・地域ケア個別会議を行い、地域課題を顕在化し、地域資源の創出へつなげていきたい。</li></ul>

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市南部第一地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔恩田校区〕

恩田校区の高齢化率は32.7%で、市全体の高齢化率（33.1%）よりやや低い。小学校の児童数が多く、子育て世代も多い圏域である。サロンは11箇所で開催されており、高齢者の健康作りや居場所作りを目的として体操や歌など様々な取り組みがされている。しかしながら、参加者が介護保険利用に移行するなどして徐々に減っているのが現状で、新規参加者の確保やサロン運営の後継者不足が課題である。また、地域の担い手全体が高齢化してきており、新しい担い手を発掘する取り組みの一つとして「男の料理教室」が開催されている。こういった取り組みを共に支えて、前期高齢者の活躍の場や健康づくりに繋げていく必要がある。

### 〔岬校区〕

岬校区の高齢化率は37.4%で、市全体の高齢化率（33.1%）より高い。漁師町で地元の繋がり意識は高いが、問題があっても表面化しにくい現状がある。飲酒の習慣も多く、高血圧者が多いという地域柄、健康に対する意識向上の必要性は高い。現在圏域内で開催されているサロンは3箇所あり、そのうち1箇所は、月曜日～金曜日まで毎日開催されている。地域住民と地域課題を共有し、健康づくりに取り組める場として既存のサロンの充実を目指すと共に、地域の実情に合った取り組みを検討していく必要がある。

## 目標（目指す姿）

- ・地域の既存のサロンを活用して、介護予防や健康づくりに取り組む場としての充実を図ると共に、誰もが参加しやすい場所を目指す。また、介護予防や健康づくりに対する周知啓発活動を行ない、住民の意識向上を図る。
- ・認知症に対する理解を深め、当事者や家族を支える地域づくりを目指す。認知症サポーターを増やし、養成講座の受講者には支援者チームの一員としての活躍を促進する。
- ・住み慣れた地域の中で、障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを、地域の人や関係機関と一緒に考え、解決に向けて取り組む。

## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
地域のサロンに参加して、健康づくりや介護予防に取り組める内容や企画をサポートするとともに、参加者に周知啓発活動を行う。 ※サロン参加者 35名/月
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・圏域内3箇所のサロンに毎月参加し、継続した開催になるようバックアップする。</li><li>・各サロンの実情に応じた、健康づくりや介護予防に関する企画を検討し、参加者の意識向上を図る。</li><li>・住民に対して、圏域内のサロンや集いの場をチラシ配布等を通じて周知し、参加につなげる。</li><li>・南部第2高齢者総合相談センターと合同で、フジグラン介護相談会を毎月開催し、健康や介護に対する相談を受け付けるとともに、周知啓発活動を行う。</li></ul>

### ② 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

成果指標
認知症に対する理解を深め、当事者と家族を支える地域づくりを目指す。 ※認知症サポーターの養成 30名/年 ※認知症カフェの開催支援 2箇所
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・支え合い会議を活用し、必要な団体を抽出して認知症サポーター養成講座を開催し、受講者を増やす。</li><li>・受講者が支援者チームの一員として活躍できるようサポートする。</li><li>・圏域内に2箇所ある認知症カフェに参加し、当事者や家族の相談に応じたり地域への橋渡しができるよう支援する。</li></ul>

## ○その他の取組

### 2 認知症高齢者支援

### ③ 障害と介護の連携

### 4 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・個別ケア会議等を通じて、障害サービス関係者との垣根を越えた関係作りからネットワーク構築につなげる。</li><li>・福祉なんでも相談員と連携し、障害と介護との縦割りではなく、ワンストップで切れ目ない相談窓口を目指す。</li></ul>

### 2 認知症高齢者支援

### 3 障害と介護の連携

### ④ 地域支援体制の強化

事業計画（具体的な取組）
障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで住みなれた地域で暮らすことができる仕組みを、地域住民や市支援チーム、社協等の関係機関と共に検討していくために「支え合い会議」を開催する。恩田校区ではこれまで通り2ヶ月に1回開催して内容の充実を目指し、岬校区では、今年度からの開催を目指す。

# 令和2年度地域包括支援センター事業計画書

宇部市南部第二地域包括支援センター

## 現状・課題

### 〔宇部市〕

前期高齢者人口に占める要介護認定者の割合が3.1%であり、国の割合の2.7%と比較して高いが、介護予防や健康づくりに取り組めるような場所が少ない。

### 〔神原地区〕

校区内はマンションが多いため、人との繋がりがほとんどなく、地域に参加していない孤立している前期高齢者が多い。商業施設も相次いで閉鎖になり、歩いて買い物へ行っていた方が自家用車やタクシーを使って買い物するようになり、歩く習慣が少なくなっている。これに対し周知、啓発する目的で、年1回特定検診の受診や健康に関するチラシを全戸配布しており、健康づくりに関する情報は身近にある。運動に取り組める場所は多い校区でもあるので、既存の資源を活かしながら、前期高齢者に関心をもってもらう必要がある。

### 〔琴芝地区〕

丘陵部から市中心部にかけての広大な圏域で場所によって状況は異なる。市街地に位置する区域はふれあいセンターや保健センター、各種運動施設など健康づくりの活動の場は多数ある。周辺部は交通の便は悪いが、少し足を伸ばせば参加できる、地域住民が主体になって運営しているサロンや健康教室が点在している。しかし参加メンバーや主催者の高齢化が進み衰退の傾向がみられる。また前期高齢者が約1,600人と3校区では一番多い。この方々が介護予防に取り組んでいくためにも、既存のサロンを存続活用していけるよう、若い層に参加を促し、担い手にもなっていただけるよう支援していく必要がある。

### 〔見初地区〕

戦後の古い商店街や住宅が密集しており高齢化が進んでいる。元々大型商業施設が遠く住民は買物に困っていたが、道幅の広い国道190線が区域を分断し、足腰の弱った超高齢者は青信号の間に道路を渡り切れず向かいのコンビニにすら行けなくなっている。

このような現状に対して、古くから互いを見知った住民間の関係性は良好で、課題解決に対する意識は高い。地域の現状から前期高齢者の関心が超高齢の要支援者の問題に向きがちだが、車に乗れ自由に移動できる今のうちに自分自身も積極的に健康づくりに取り組む必要があることに気づき、行動に移したい。地域では孤立の防止にも積極的に取り組んでいるので関係機関協働して推進していく。

## 目標（目指す姿）

・南部圏域は健康保持、体力の増強を図れるプログラムを提供している施設を多数擁し既存のサロンや健康教室も多くある。これまで介護予防や健康づくりを意識せず参加してこなかった前期高齢者に対し、これらの施設や取り組みを情報提供し、繰り返しの周知を図ることで、地域資源を有効に活用した介護予防に地域全体、あるいは地域のあちらこちらで取り組める空気をつくりたい。

・いつか車を手放しても、自分の足で歩きバスを使って移動できる、体力がある高齢者の暮らす街づくりをめざします。

## ○重点的取組

### 1 地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

成果指標
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民が、地域にある運動施設やプログラム、サロンや健康教室の活動内容を知り、関心を持つことによって積極的に参加することができる。</li><li>・2地域で毎月行っている健康相談会を担当3地域に拡大する。</li></ul>
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・支援チームと協働して健康相談の継続、拡大。</li><li>・身近な健康づくりができる場所（スポーツジム、フィットネスクラブ、プール等）や地域のサロン・教室を紹介する広報誌を地域毎に作り、各種会議、サロン、窓口などで配布、あるいは個別訪問の際に配布。より多くの方に地域の資源を知ってもらうことで、参加のきっかけづくりをする。</li><li>・健康づくりや運動に関する情報（効果、実感など）を校区だよりや情報誌に掲載する。</li><li>・地域の事業所と共催の『健康と介護予防の相談会』を、集いの場の少ないエリアに展開する。</li></ul>

### 4 地域支援体制の強化

成果指標
個別ケア会議や支え合い会議を通して、地域課題を地域住民・支援者と共有し、具体的な解決に向けた行動に移せる体制づくりを行う。支え合い会議は地域によって進捗状況が異なる為、地域の実情を関係機関で共有する必要もある。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域・保健福祉支援チームや生活支援コーディネーター、地区ふれあいセンターと協働し、各地区のコミュニティ推進協議会や校区社協、自治連等の会議に参加。地域の実情を把握し、地域の課題を明確にする。また既存の組織を活用する等、住民が無理なく主体的に課題解決に取り組めるよう支援する。既存の会議では対応できない新たな課題についても、支え合い会議の創出・提案を行い、地域で解決を図れるよう連携を強化する。</li><li>・様々な個別ケースの支援を通して地区民生委員や福祉委員、防災担当者との情報共有、支援体制の強化を図る。</li></ul>

## ○その他の取組

### 2 認知症高齢者支援

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・郵便局、金融機関、病院、薬局、商店など高齢者が立ち寄る場所へチラシを配布、相談窓口として周知をはかる。</li><li>・認知症予防講座や認知症サポーター養成講座を各地区(3地区)で開催する。</li><li>・地域の認知症カフェの継続支援や、歩いて集まれる場所を見つけ、小さなサロンや相談会の開催を地域に提案、運営を支援する。</li></ul>

### 3 障害と介護の連携

事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>・福祉なんでも相談員とともに障がい等地域支援ブロック会議や研修会に積極的に参加し、情報収集を行うとともに関係性を強化、顔の見える支援体制づくりを行う。</li><li>・障害者サービスから介護サービスへの移行や複合利用が円滑に行えるように、行政機関や相談支援事業者と情報交換を行うとともに、課題の解決に向けての対応力向上をはかる。</li></ul>

令和2年度（2020年度）  
宇部市地域包括支援センター  
収支予算書

令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書 まとめ

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	
運営法人		社会福祉法人 光栄会	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会	
歳入	包括的支援事業	21,446,520	19,112,000	22,704,000	21,104,000	17,344,000	23,182,000	14,328,000	14,387,000	22,640,800	25,089,300	
	指定介護予防支援事業	5,865,640	12,894,000	6,800,000	5,700,000	14,683,500	12,374,810	6,597,000	4,055,807	9,747,800	7,308,600	
	歳入合計	27,312,160	32,006,000	29,504,000	26,804,000	32,027,500	35,556,810	20,925,000	18,442,807	32,388,600	32,397,900	
歳出	人件費	包括的支援事業	16,059,200	15,771,000	16,889,000	15,210,000	17,134,000	14,840,000	12,443,000	10,557,333	15,962,400	15,988,374
		指定介護予防支援事業	3,115,700	7,068,000	2,620,000	2,900,000	4,413,500	6,218,810	2,537,000	1,957,224	6,841,000	4,657,469
		計	19,174,900	22,839,000	19,509,000	18,110,000	21,547,500	21,058,810	14,980,000	12,514,557	22,803,400	20,645,843
	事務費	包括的支援事業	5,387,320	3,750,000	6,289,000	5,894,000	210,000	8,342,000	1,885,000	3,829,667	6,678,400	9,100,926
		指定介護予防支援事業	2,749,940	5,417,000	3,706,000	2,800,000	10,270,000	6,156,000	4,060,000	2,098,583	2,906,800	2,651,131
		計	8,137,260	9,167,000	9,995,000	8,694,000	10,480,000	14,498,000	5,945,000	5,928,250	9,585,200	11,752,057
	歳出合計	27,312,160	32,006,000	29,504,000	26,804,000	32,027,500	35,556,810	20,925,000	18,442,807	32,388,600	32,397,900	
収支差額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【再掲】 包括的支援事業(市受託分について)

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2
運営法人		社会福祉法人 光栄会	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会
歳入	委託料	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	11,758,000	11,758,000	16,704,000	16,704,000
	介護予防ケアマネジメント費収入	4,742,520	2,399,000	6,000,000	4,400,000	640,000	6,478,000	2,569,980	2,628,000	4,786,900	8,385,300
	その他の収入	0	9,000	0	0	0	0	20	1,000	1,149,900	0
	合計	21,446,520	19,112,000	22,704,000	21,104,000	17,344,000	23,182,000	14,328,000	14,387,000	22,640,800	25,089,300
歳出	人件費	16,059,200	15,771,000	16,889,000	15,210,000	17,134,000	14,840,000	12,443,000	10,557,333	15,962,400	15,988,374
	事務費	5,387,320	3,750,000	6,289,000	5,894,000	210,000	8,342,000	1,885,000	3,829,667	6,678,400	9,100,926
	合計	21,446,520	19,521,000	23,178,000	21,104,000	17,344,000	23,182,000	14,328,000	14,387,000	22,640,800	25,089,300
収支差額		0	-409,000	-474,000	0	0	0	0	0	0	0

## 令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市東部第一地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000	/	16,704,000	
介護予防サービス計画費収入	/	5,864,640	5,864,640	
介護予防ケアマネジメント費収入	4,742,520	/	4,742,520	
その他の収入		1,000	1,000	普通預金利息
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>21,446,520</b>	<b>5,865,640</b>	<b>27,312,160</b>	

<歳出>

(単位:円)

項 目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	8,798,000	2,230,000	11,028,000	
	〃 諸手当	3,861,000	323,000	4,184,000	
	〃 法定福利費	2,432,500	316,800	2,749,300	
	賃金(臨時職員)	380,000	50,000	430,000	超過勤務手当
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	587,700	195,900	783,600	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>16,059,200</b>	<b>3,115,700</b>	<b>19,174,900</b>	
事務費	旅費	20,000	10,000	30,000	出張旅費
	消耗品費	120,000	52,000	172,000	コピー用紙・事務用品等
	燃料費	152,000	50,000	202,000	ガソリン代
	印刷製本費	328,800	102,500	431,300	コピー機カウント料
	光熱水費	156,500	41,390	197,890	電気代・水道代・ガス代
	修繕費	50,000	10,000	60,000	車検費用
	通信運搬費	185,500	62,000	247,500	電話代・NTTcom・郵送料
	手数料	37,000	23,000	60,000	振込手数料
	保険料	330,000	54,000	384,000	火災保険料・自動車保険料
	委託料	2,673,720	1,897,920	4,571,640	各居宅事業所へ請求分振替
	使用料及び賃借料	1,075,000	356,000	1,431,000	コピー機リース料・地域包括ケアシステム リース料・駐車場使用料
	備品購入費	100,000	30,000	130,000	
	負担金(各種研修)	75,000	29,000	104,000	研修受講料・年会費(包括協議会他)
	福利厚生費	73,800	23,600	97,400	健康診断料・インフルエンザ予防 接種・被服費
	租税公課	10,000	8,530	18,530	消費税・車両重量税・印紙代
<b>事務費計 (C)</b>	<b>5,387,320</b>	<b>2,749,940</b>	<b>8,137,260</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>21,446,520</b>	<b>5,865,640</b>	<b>27,312,160</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		



## 2020年度(令和2年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市東部第二地域包括支援センター)

### <歳入>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	3名分
介護予防サービス計画費収入		8,455,000	8,455,000	予防 4,310×1920件 うち初回加算60件
介護予防ケアマネジメント費収入	2,399,000		2,399,000	包括的 4,310×540件 うち初回加算24件
その他の収入	9,000	4,439,000	4,448,000	長期前払費用収入(火災 保険料振替分)¥15,000含
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>19,112,000</b>	<b>12,894,000</b>	<b>32,006,000</b>	

### <歳出>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	10,159,000	5,656,000	15,815,000	包括的3名、予防介護2名
	〃 諸手当	3,157,000	760,000	3,917,000	職員賞与
	〃 法定福利費	2,366,000	652,000	3,018,000	財団掛金、健康診断料含む
	賃金(臨時職員)	0	0	0	
	報償費(講師等)	0	0	0	
	報酬(各種会議の委員等)	0	0	0	
	退職金共済掛金	89,000	0	89,000	退職共済掛金
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>15,771,000</b>	<b>7,068,000</b>	<b>22,839,000</b>	
事務費	旅費	1,000	0	1,000	
	消耗品費	55,000	40,000	95,000	
	燃料費			0	
	印刷製本費	10,000	10,000	20,000	名刺代他
	光熱水費	90,000	60,000	150,000	電気代
	修繕費	0	10,000	10,000	
	通信運搬費	320,000	210,000	530,000	電話代、切手代
	手数料	2,000	120,000	122,000	振込手数料他
	保険料	104,000	54,000	158,000	自動車任意保険料他
	委託料	2,363,000	3,915,000	6,278,000	介護予防委託料
	使用料及び賃借料	724,000	487,000	1,211,000	車リース、ガソリン代他
	備品購入費	0	115,000	115,000	
	負担金(各種研修)			0	
	その他の支出	81,000	396,000	0	研修時交通費、諸会費他
<b>事務費計 (C)</b>	<b>3,750,000</b>	<b>5,417,000</b>	<b>9,167,000</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>19,521,000</b>	<b>12,485,000</b>	<b>32,006,000</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>△ 409,000</b>	<b>409,000</b>	<b>0</b>		

2020年度(令和2年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市西部第一地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	課税売上計上により仮受消費税を未 払消費税として法人本部で納付
介護予防サービス計画費収入		6,800,000	6,800,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	6,000,000		6,000,000	
その他の収入		0	0	住宅改修、前年度繰入
<b>歳入合計(A)</b>	<b>22,704,000</b>	<b>6,800,000</b>	<b>29,504,000</b>	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	14,149,000	2,400,000	16,549,000	
	〃 諸手当			0	
	〃 法定福利費	2,500,000	160,000	2,660,000	
	人件費負担金	240,000	60,000	300,000	
	<b>人件費計(B)</b>	<b>16,889,000</b>	<b>2,620,000</b>	<b>19,509,000</b>	
事務費	旅費	0	0	0	駐車料
	消耗品費	30,000	10,000	40,000	コピー代、事務用品等
	燃料費	10,000	5,000	15,000	重油代
	印刷製本費	0	0	0	
	光熱水費	20,000	5,000	25,000	
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	100,000	50,000	150,000	電話、携帯電話通話料、郵送料
	手数料	30,000	130,000	160,000	振込手数料、税理士決算報酬
	保険料	0	0	0	
	委託料	4,000,000	3,000,000	7,000,000	予防事業委託料
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	50,000	0	50,000	地域包括協議会年会費
	賃借料	120,000	40,000	160,000	家賃
	自動車費	30,000	10,000	40,000	ガソリン代、任意保険料
	研究図書費	10,000	0	10,000	研修参加費
	広告宣伝費	3,000	0	3,000	ポケットティッシュ(啓発活動)
	患者厚生費	10,000	5,000	15,000	
	リース料	1,000,000	450,000	1,450,000	公用車、パソコン
	福利厚生費	0	0	0	職員健診
	租税公課	875,000	0	875,000	控除対象外消費税
	衛生費	1,000	1,000	2,000	コキブリ防除、マット代
雑費	0	0	0		
<b>事務費計(C)</b>	<b>6,289,000</b>	<b>3,706,000</b>	<b>9,995,000</b>		
<b>歳出合計(D)(B+C)</b>	<b>23,178,000</b>	<b>6,326,000</b>	<b>29,504,000</b>		
<b>収支差額(A-D)</b>	<b>474,000</b>	<b>474,000</b>	<b>0</b>		

委託料課税売上計上により仮受消費税分を計上していません。よって収支差額に相当額のマイナスが発生しますがご指摘により事務費の削減をしております。

令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市西部第二地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	
介護予防サービス計画費収入		5,700,000	5,700,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	4,400,000		4,400,000	
その他の収入			0	
歳入合計 (A)	21,104,000	5,700,000	26,804,000	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
人件費	職員給料	11,580,000	2,900,000	14,480,000
	〃 諸手当	1,500,000		1,500,000
	〃 法定福利費	1,800,000		1,800,000
	賃金(臨時職員)			0
	報償費(講師等)			0
	報酬(各種会議の委員等)			0
	退職金共済掛金	330,000		330,000
	人件費計 (B)	15,210,000	2,900,000	18,110,000
事務費	旅費	3,000		3,000
	消耗品費	40,000	130,000	170,000
	燃料費	60,000	30,000	90,000
	印刷製本費			0
	光熱水費	150,000	90,000	240,000
	修繕費	33,000		33,000
	通信運搬費	240,000	160,000	400,000
	手数料	30,000		30,000
	保険料	50,000	40,000	90,000
	委託料	2,400,000	2,350,000	4,750,000
	使用料及び賃借料	2,800,000		2,800,000
	備品購入費			0
	負担金(各種研修)	88,000		88,000
	事務費計 (C)	5,894,000	2,800,000	8,694,000
歳出合計(D) (B+C)	21,104,000	5,700,000	26,804,000	
収支差額 (A-D)	0	0	0	

## 令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市中部第一地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	
介護予防サービス計画費収入		13,760,000	13,760,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	640,000		640,000	
その他の収入		923,500	923,500	法人から繰入
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>17,344,000</b>	<b>14,683,500</b>	<b>32,027,500</b>	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	11,930,000	3,010,000	14,940,000	
	〃 諸手当	2,583,500	720,000	3,303,500	賞与
	〃 法定福利費	2,220,000	550,000	2,770,000	
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	400,500	133,500	534,000	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>17,134,000</b>	<b>4,413,500</b>	<b>21,547,500</b>	
事務費	旅費	10,000	0	10,000	駐車場代等
	消耗品費	40,000	10,000	50,000	コピー用紙他
	燃料費	50,000	15,000	65,000	ガソリン代
	印刷製本費			0	
	光熱水費	50,000	15,000	65,000	事務所光熱費
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	20,000	10,000	30,000	電話代他
	手数料	0	0	0	
	保険料	0	0	0	
	委託料	0	10,200,000	10,200,000	ケアマネジメント委託料
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	20,000	10,000	30,000	
	福利厚生費	20,000	10,000	30,000	健康診断等
<b>事務費計 (C)</b>	<b>210,000</b>	<b>10,270,000</b>	<b>10,480,000</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>17,344,000</b>	<b>14,683,500</b>	<b>32,027,500</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		



## 令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市中部第二地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	
介護予防サービス計画費収入		7,936,000	7,936,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	6,478,000		6,478,000	
その他の収入	0	4,438,810	4,438,810	前年度繰越金、 他会計区分繰入金
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>23,182,000</b>	<b>12,374,810</b>	<b>35,556,810</b>	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	9,840,000	3,200,000	13,040,000	
	〃 諸手当	2,700,000	800,000	3,500,000	
	〃 法定福利費	2,000,000	400,000	2,400,000	
	賃金(臨時職員)	0	1,718,810	1,718,810	
	報償費(講師等)	0	0	0	
	報酬(各種会議の委員等)	0	0	0	
	退職金共済掛金	300,000	100,000	400,000	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>14,840,000</b>	<b>6,218,810</b>	<b>21,058,810</b>	
事務費	旅費	12,000	0	12,000	研修参加費等
	消耗品費	450,000	50,000	500,000	コピー用紙、トナー、事務用品等
	燃料費	0	0	0	
	印刷製本費	0	0	0	
	光熱水費	150,000	20,000	170,000	
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	700,000	50,000	750,000	電話、切手代等
	手数料	0	0	0	
	保険料	130,000	0	130,000	
	委託料	5,700,000	5,800,000	11,500,000	介護予防委託料等
	使用料及び賃借料	1,000,000	200,000	1,200,000	建物賃借料、ネットワーク管理料等
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	0	0	0	
	車輛費	200,000	36,000	236,000	ガソリン代等
	<b>事務費計 (C)</b>	<b>8,342,000</b>	<b>6,156,000</b>	<b>14,498,000</b>	
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>23,182,000</b>	<b>12,374,810</b>	<b>35,556,810</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市北部東地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	11,758,000		11,758,000	
介護予防サービス計画費収入		3,245,990	3,245,990	
介護予防ケアマネジメント費収入	2,569,980		2,569,980	
受取利息配当金収入	20	10	30	
拠点区分間長期借入金		3,351,000		法人からの借入
歳入合計 (A)	14,328,000	6,597,000	20,925,000	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的 支援事業	指定介護予防 支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	7,355,000	1,663,000	9,018,000	常勤3名、非常勤1名
	〃 諸手当	2,803,000	613,000	3,416,000	賞与他
	〃 法定福利費	2,065,000	151,000	2,216,000	
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	220,000	110,000	330,000	山口県健康福祉財団
	人件費計 (B)	12,443,000	2,537,000	14,980,000	
事務費	福利厚生費	16,000	7,000	23,000	
	消耗品費	90,000		90,000	
	印刷製本費	110,000		110,000	
	水道光熱費	45,000		45,000	
	修繕費	50,000		50,000	
	通信運搬費	230,000		230,000	
	広報費	8,000		8,000	
	業務委託費		4,000,000	4,000,000	
	手数料	2,000	24,000	26,000	
	保険料	70,000		70,000	火災保険、車輛保険
	賃借料	792,000	500	792,500	PC、システム、複合機、車輛等
	保守料	210,000	3,500	213,500	PC、システム、複合機等
	渉外費	100,000	20,000	120,000	
	諸会費	42,000		42,000	山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会
	車輛費	120,000	2,000	122,000	ガソリン代
	雑支出		3,000	3,000	
事務費計 (C)	1,885,000	4,060,000	5,945,000		
歳出合計(D) (B+C)	14,328,000	6,597,000	20,925,000		
収支差額 (A-D)	0	0	0		



令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市北部西地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	11,758,000		11,758,000	業務委託金
介護予防サービス計画費収入		3,913,000	3,913,000	居宅介護支援介護料等
介護予防ケアマネジメント費収入	2,628,000		2,628,000	居宅介護支援介護料等
その他の収入		142,807	142,807	サービス区分間繰入金
その他の収入	1,000		1,000	利息
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>14,387,000</b>	<b>4,055,807</b>	<b>18,442,807</b>	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	6,347,746	1,298,449	7,646,195	常勤3名
	〃 諸手当	2,684,939	392,412	3,077,351	通勤手当・賞与
	〃 法定福利費	1,328,808	235,051	1,563,859	社会保険料
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金	195,840	31,312	227,152	常勤3名
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>10,557,333</b>	<b>1,957,224</b>	<b>12,514,557</b>	
事務費	旅費	120,000	17,500	137,500	研修旅行費等
	消耗品費	332,500	36,250	368,750	事務用品等
	燃料費	167,500	26,250	193,750	ガソリン代等
	印刷製本費	270,000	45,000	315,000	コピー機等使用料
	光熱水費	252,000	42,000	294,000	電気代等
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	270,000	45,000	315,000	電話代等
	手数料	29,167	40,833	70,000	振込手数料
	保険料	75,000	12,500	87,500	施設事故賠償責任保険・自動車任意保険料等
	委託料	1,112,000	1,668,000	2,780,000	予防給付ケアマネジメント委託料
	使用料及び賃借料	1,117,500	151,250	1,268,750	包括システムリース料・自動車リース料
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	0	0	0	
	被服費	15,000	2,500	17,500	職員制服代
	福利厚生費	37,500	6,250	43,750	福利厚生掛金等
	諸会費	31,500	5,250	36,750	県地域包括協議会会費
		0	0		
<b>事務費計 (C)</b>	<b>3,829,667</b>	<b>2,098,583</b>	<b>5,928,250</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>14,387,000</b>	<b>4,055,807</b>	<b>18,442,807</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市南部第一地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	
介護予防サービス計画費収入		6,888,000	6,888,000	
介護予防ケアマネジメント費収入	4,786,900		4,786,900	
その他の収入	1,149,900	2,859,800	4,009,700	法人からの補填
<b>歳入合計 (A)</b>	<b>22,640,800</b>	<b>9,747,800</b>	<b>32,388,600</b>	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	9,158,100	3,924,900	13,083,000	
	〃 諸手当	2,300,200	985,800	3,286,000	
	〃 法定福利費	2,150,400	921,600	3,072,000	
	賞金(臨時職員)	2,353,700	1,008,700	3,362,400	
	報償費(講師等)		0	0	
	報酬(各種会議の委員等)		0	0	
	退職金共済掛金		0	0	
	<b>人件費計 (B)</b>	<b>15,962,400</b>	<b>6,841,000</b>	<b>22,803,400</b>	
事務費	旅費	15,000		15,000	
	消耗品費	169,100	72,500	241,600	
	燃料費	216,700	92,900	309,600	
	印刷製本費	23,500	10,100	33,600	
	光熱水費	141,100	60,500	201,600	
	修繕費	0	0	0	
	通信運搬費	200,500	85,900	286,400	
	手数料		51,000	51,000	
	保険料	189,300	81,100	270,400	養老、賠償保険
	委託料	4,436,600	1,901,400	6,338,000	居宅事業所委託料
	使用料及び賃借料	429,900	184,200	614,100	
	備品購入費	0	0	0	
	負担金(各種研修)	34,700	14,900	49,600	
	その他の支出	822,000	352,300	1,174,300	福利厚生費等
<b>事務費計 (C)</b>	<b>6,678,400</b>	<b>2,906,800</b>	<b>9,585,200</b>		
<b>歳出合計(D) (B+C)</b>	<b>22,640,800</b>	<b>9,747,800</b>	<b>32,388,600</b>		
<b>収支差額 (A-D)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		



## 令和2年度(2020年度) 地域包括支援センター収支予算書

(宇部市南部第二地域包括支援センター)

<歳入>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要
市受託金収入(包括的支援事業委託料)	16,704,000		16,704,000	
介護予防サービス計画費収入		7,308,600	7,308,600	前年度に基づく
介護予防ケアマネジメント費収入	8,385,300		8,385,300	前年度に基づく
その他の収入			0	
歳入合計 (A)	25,089,300	7,308,600	32,397,900	

<歳出>

(単位:円)

項目	包括的支援事業	指定介護予防支援事業	計	摘要	
人件費	職員給料	11,450,290	3,335,510	14,785,800	収益按分
	〃 諸手当	2,795,780	814,420	3,610,200	〃
	〃 法定福利費	1,742,304	507,539	2,249,843	〃
	賃金(臨時職員)			0	
	報償費(講師等)			0	
	報酬(各種会議の委員等)			0	
	退職金共済掛金			0	
	人件費計 (B)	15,988,374	4,657,469	20,645,843	
事務費	旅費	155	45	200	収益按分
	消耗品費	149,586	43,575	193,161	事務用品等
	燃料費	56,532	16,468	73,000	ガソリン代
	印刷製本費			0	
	光熱水費	73,600	21,440	95,040	電気・水道代
	修繕費			0	
	通信運搬費	36,355	10,590	46,945	電話・郵送料
	手数料	200,071	58,282	258,353	事務・振込料
	保険料	3,717	1,083	4,800	火災保険
	委託料	6,276,683	1,828,419	8,105,102	ケアマネジメント料
	使用料及び賃借料	2,304,227	671,229	2,975,456	家賃・自動車リース費用
	備品購入費			0	
	負担金(各種研修)			0	
	事務費計 (C)	9,100,926	2,651,131	11,752,057	
	歳出合計(D) (B+C)	25,089,300	7,308,600	32,397,900	
収支差額 (A-D)	0	0	0		

# 令和元年度福祉なんでも相談窓口の事業実施状況 及び令和2年度事業について

## 1 令和元年度福祉なんでも相談窓口の事業実施状況と評価

### (1) 事業実施方針

#### ① 包括的相談支援体制の強化

- ・ 窓口の周知に努め、高齢者だけではなく、子どもから高齢者まで複合的課題を抱える世帯からの相談に対応する。
- ・ 地域住民や関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行う。

#### ② 障害者や子ども等の関係機関との連携の拡大・強化

- ・ 高齢者に関する関係機関のみならず、障害者や子ども等の関係機関との連携を拡大・強化する。
- ・ 保健・医療・福祉分野を越えた機関とのネットワークを構築する。

### (2) 事業実施状況と評価

- ① 福祉なんでも相談窓口 15 か所（地域包括支援センター10 か所、宇部市社会福祉協議会障害者支援事業所 2 か所、発達障害等相談センター、ふらっとコミュニティひだまり）で実施。高齢と障害の分野には窓口には設置できているが、子どもの分野に設置できていない。
- ② 10 歳代から 90 歳代までの延べ 3,686 件の相談（うち複合的課題を抱えた世帯 505 世帯、571 人）相談に対応した。総合相談窓口として関係機関と連携し幅広い年齢層に相談対応ができていないものも対応しているもの 65 歳以下の方からの相談は 27.7%、また、子どもの件数は全体の 1%に留まっている。
- ③ 分野別相談内容としては、障害分野の相談が 38.7%と最も多く、次いで介護 26.8%、生活困窮 9.0%と続き、子育てに関する相談は 0.9%と少ない。
- ④ 複合的課題を抱える世帯の相談内容（重複あり）としては、経済的困窮や精神障害、ひきこもり（8050）に関する相談が多く寄せられている。また、昨年度は子どもに関する相談が 1 件のみだったが、今年度は 11 件に増えており、養育が困難、非行といった相談に対応している。
- ⑤ 相談の多い精神障害やひきこもりの相談への対応においては対応に苦慮しながらも時間をかけ丁寧に伴走支援しているため終結率は 44.5%となっている。
- ⑥ 地域の中ではネットワークの構築に関しては福祉分野との連携はできているが、子どもの分野等との連携の広がりには十分とは言えない。
- ⑦ 福祉制度をまとめた福祉なんでも相談員便利帳の作成および地域情報をまとめた地域資源マップを作成など自主的、積極的な活動ができている。

### (3) 課題

- ① 地域住民への窓口の周知
- ② 子どもから高齢者まで複合的課題を抱える世帯や精神障害者、ひきこもり者等への対応力・支援力の強化
- ③ 障害者や子ども等の関係機関との連携の拡大・強化
- ④ 把握した地域課題についての解決策の検討

## 2 令和2年度福祉なんでも相談窓口の事業

### (1) 事業実施方針

令和元年度と同じ

### (2) 事業の取り組みについて

- ① 地域住民への窓口の周知  
チラシ、ロコミといったことだけでなくサテライト窓口の開設等効果的な周知について検討・工夫していく。
- ② 子どもから高齢者まで複合的課題を抱える世帯や精神障害者、ひきこもり者等への対応力・支援力の強化  
各種制度や疾患別対応方法について市が認証相談員養成講座を実施し、対応力・支援力の強化に努める。
- ③ 子どもの分野に窓口の拡大について検討をすすめる。
- ④ 把握した地域課題についての解決策の検討  
相談対応するうえで把握した地域課題について解決策の検討を進めていく。

## 令和元年度福祉なんでも相談窓口の事業実績

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

### ■ 相談窓口箇所数

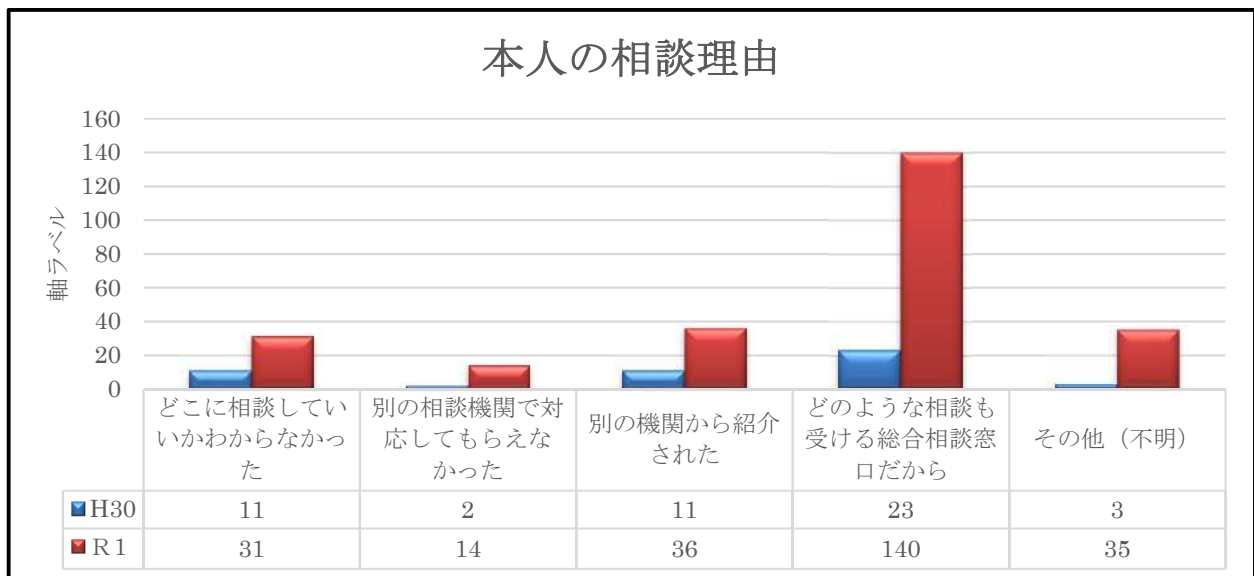
	H30	R1
箇所数	5	15

### ■ 相談件数

	H30	R1
複合的課題を抱えた世帯数	94	505
複合的課題を抱えた世帯人数	123	571
延べ人数	983	3,686

### ■ 本人が相談した理由

支援者が窓口機能を認識し、適切に窓口の紹介ができており、相談者が総合相談窓口として認識ができています。



### ■ 相談内容（重複あり）

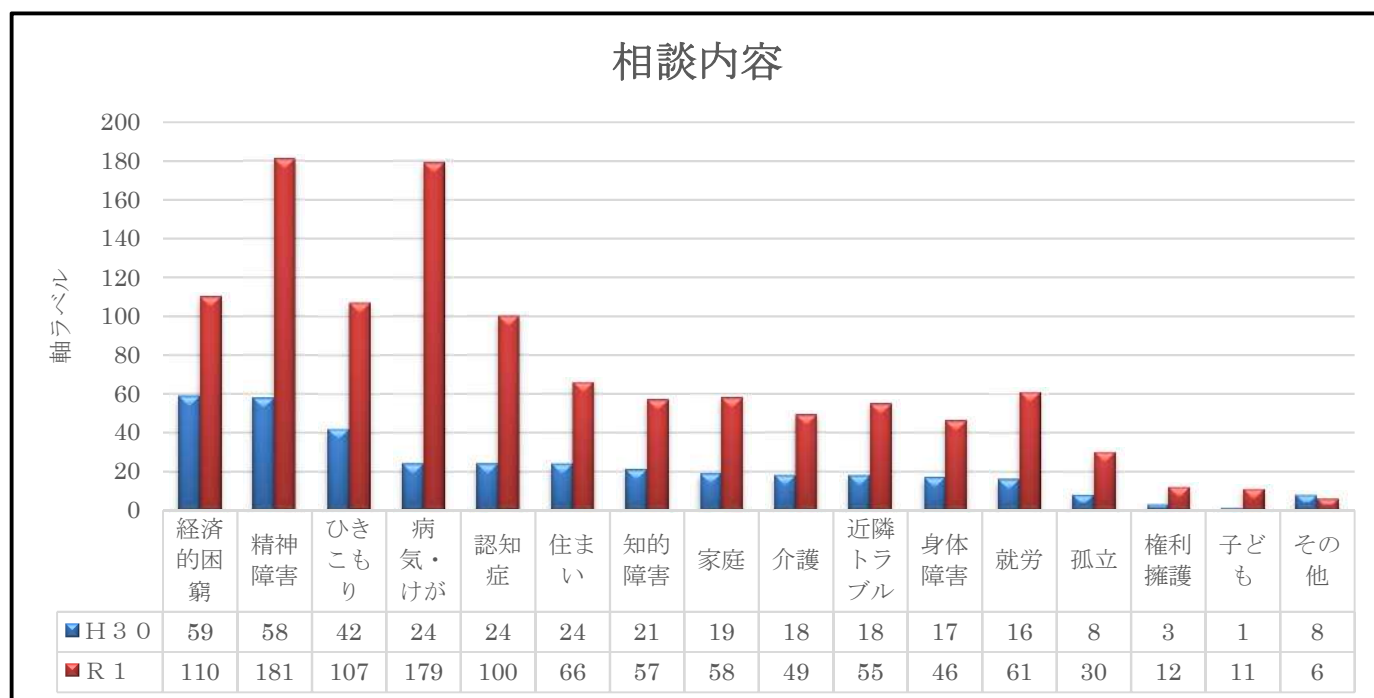
分野別相談内容では障害分野の相談が最も多く、次いで介護、生活困窮と続き、子育てに関する相談は少ない。

相談の内容	件数	
	H30	R1
障害	195 (46.5%)	1,870 (38.4%)
介護	123 (29.4%)	1,306 (26.8%)
子育て	4 (1.0%)	41 (0.9%)
生活困窮	32 (7.6%)	439 (9.0%)
その他	65 (15.5%)	1,212 (24.9%)
合計	419 (100%)	4868 (100%)

■ 複合的課題を抱える世帯の相談内容（重複あり）

相談内容の傾向は、あまり変わらず、経済的困窮や精神障害、ひきこもり（8050）に関する相談が多く寄せられている。また、昨年度は子どもに関する相談が1件のみだったが、今年度は11件に増えている。養育が困難、非行といった相談に対応している。

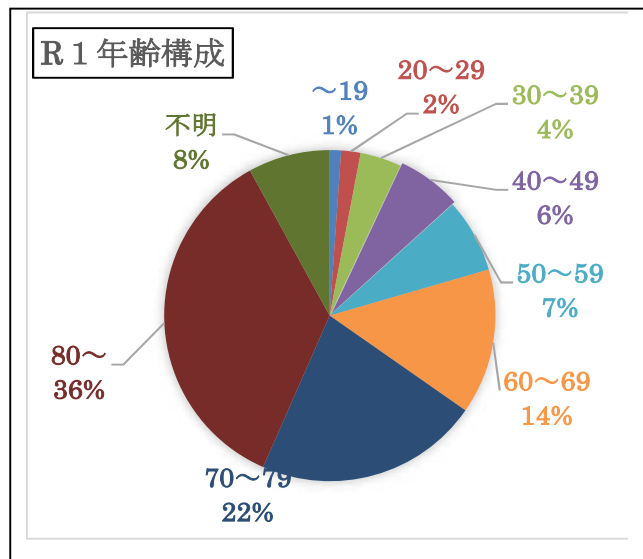
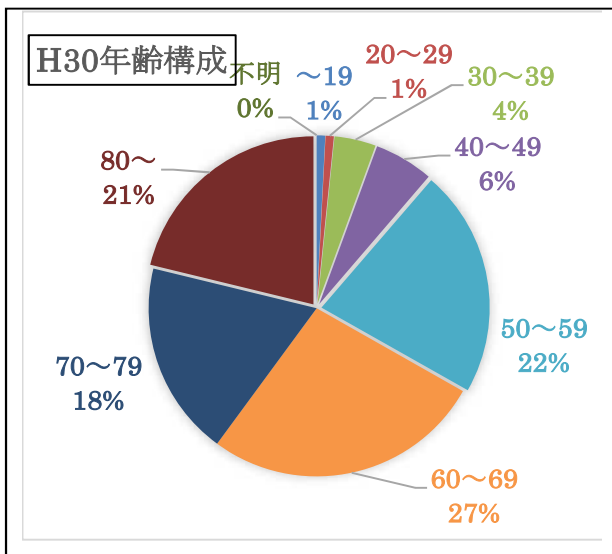
相談の内容	件数	
	H30	R1
経済的困窮（借金・債務、経済的困窮）	59(16.4%)	110(9.8%)
精神障害（精神障害、依存症、自殺企図）	58(16.1%)	181(16.0%)
ひきこもり（親の年金のみで子が無職、ひきこもり）	42(11.7%)	107(9.5%)
病気・けが	24(6.7%)	179(15.8%)
認知症	24(6.7%)	100(8.9%)
住まい（被災者、ホームレス、ごみ屋敷）	24(6.7%)	66(5.9%)
知的障害	21(5.8%)	57(5.1%)
家庭（家庭内暴力、家庭が不仲）	19(5.3%)	58(5.1%)
介護（在宅介護が困難）	18(5.0%)	49(4.4%)
近隣トラブル	18(5.0%)	55(4.9%)
身体障害	17(4.7%)	46(4.1%)
就労（ニート、失業、就労不安定）	16(4.4%)	61(5.4%)
孤立	8(2.2%)	30(2.7%)
権利擁護（虐待、成年後見制度）	3(0.8%)	12(1.0%)
子ども（家庭での養育困難、不登校、非行）	1(0.3%)	11(1.1%)
その他（刑余者他）	8(2.2%)	6(0.5%)
合計	360(100%)	1,128(100%)



■ 相談対象者の年齢構成

高齢者のみならず、幅広い年齢層に対応できているものの65歳以下の方からの相談は27.7%、また、子どもの件数は全体の1%に留まっている。

	H30	R1
～19	1 (0.8%)	6 (1.1%)
20～29	1 (0.8%)	11 (1.9%)
30～39	5 (4.0%)	23 (4.0%)
40～49	7 (5.7%)	36 (6.3%)
50～59	27 (21.9%)	41 (7.2%)
60～69	33 (26.9%)	81 (14.2%)
70～79	23 (18.7%)	125 (21.9%)
80～	26 (21.2%)	202 (35.4%)
不明		46 (8.0%)
合計	123 (100%)	571 (100%)



■ 終結件数

複合的課題を抱えた世帯が増え、関係機関につないで終結するという支援ではなく伴走型支援に変化してきている。

		H30	R1
終結数		100	254
終結率 (終結数/実人数)		81.3% (100/123)	44.5% (254/571)
終結状況	課題解決	32	180
	状況改善	59	58
	音信不通	7	13

	死亡	2	3
--	----	---	---

## ■ 把握した地域課題

- 1 介護保険以外の高齢者の居場所が少ない
- 2 サロンに行きたいが歩いていけない（他人に迷惑はかけたくない）
- 3 男性は自宅で過ごすことが多く、地域とのかかわりが少ない  
（男性の居場所が少ない）
- 4 高齢化が進み、高齢者の見守り体制や災害時の対応等必要だが、取り組みに地域格差が大きい
- 5 母子や妊婦の地域での相談先が少ない
- 6 スーパーや市民センターといった人の集まる場所での相談体制ができていない
- 7 障害グループホームが少なく、困ったときの受け皿がない
- 8 医療的ケア児を受け入れる保育園や幼稚園がない
- 9 高齢者でごみ出しができない人が増えている
- 10 地域住民同士が気軽に話ができる場がない

令和元年度事業計画の活動指標 (地域包括支援センターに設置した10か所)

指標	内容	10か所中
		達成窓口数
総合相談対応件数	相談対応総件数 (のべ件数/年)	7
複合的課題を抱える世帯への相談対応件数	総件数のうち、障害者、ダブルケアや8050など複合的課題を抱える世帯への相談対応のべ件数	9
アウトリーチによる把握・訪問件数	総件数のうちアウトリーチでの把握や訪問による相談のべ件数	7
電話・来所等その他の相談件数	総件数のうち電話や来所等(アウトリーチや訪問以外)での相談のべ件数	7
終結件数	総件数のうち課題が解決して終了したまたは関係機関につないで終了した件数	6
関係機関等へのアウトリーチ機関数	課題解決のために訪問した関係機関数	6
ネットワークを構成している連携関係機関数	ネットワークを構成している連携関係機関数 (累計)	9
相談支援包括化推進会議	相談支援包括化推進会議の開催回数 * 地域ケア個別会議、地域ケア会議、地域支え合い会議等既存の会議を活用しての開催も可	6
課題・ニーズの把握及び課題解決策の提案件数	個別支援から課題やニーズの把握及び改善策等の提案を行った件数	7



<p style="text-align: center;"><b>評価</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 窓口の周知に努め、高齢者だけでなく、子どもから高齢者まで複合的な課題を抱える世帯からの相談に対応できているが、子どもについての相談件数は少ない。</li> <li>2 相談内容も経済的困窮や精神疾患、ひきこもりの相談など複合的課題を抱えた世帯からの相談が多く、その支援に苦慮している。 つないで支援が終了するケースは少なく、終結には時間を要し、伴走型支援となっている。</li> <li>3 活動指標から関係機関へのアウトリーチや分野を越えたネットワークの構築や地域課題の把握について目標の達成できていない。</li> <li>4 福祉制度をまとめた福祉なんでも相談員便利帳の作成および地域情報をまとめた地域資源マップを作成など自主的、積極的な活動ができている。</li> </ol>
<p style="text-align: center;"><b>課題</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域住民への窓口の周知</li> <li>2 子どもから高齢者まで複合的課題を抱える世帯や精神障害者、ひきこもり者等への対応力・支援力の強化</li> <li>3 障害者や子ども等の関係機関との連携の拡大・強化</li> <li>4 把握した地域課題についての解決策の検討</li> </ol>

<参考> 地域資源マップ及び福祉なんでも相談員便利帳（表紙および目次のみ）



地域資源マップ 掲載順

①	サロン (地域別)	* 東岐波 * 川上 * 西岐波 * 常盤 * 西宇部 * 厚南 * 黒石 * 原 * 上宇部 * 小羽山 * 新川 * 橋の島
②	趣味活動のサークル (地域別)	* 藤山 * 厚東 * * 二俣瀬 * 小野 * 船木 * 万倉 * 吉部 * 園田 * 神 * 見初
③	運動系サークル (地域別)	* 神原 * 翠芝
4	神原苑・ふなき・そらいろ	
5	配達サービス (市内共通)	
6	配食サービス (市内共通)	
7	送迎サービス (市内共通)	
8	有償助け合いサービス (市内共通)	
9	子ども食堂・子どもの居場所 (市内共通)	
10	自費対応ヘルパー (市内共通)	
11	その他の住民が利用可能な生活支援サービス (市内共通)	



# 福祉なんでも相談員 便利帳

宇部市地域福祉・指導監査課福祉総合相談センター

2020年3月作成

## 福祉なんでも相談窓口便利帳

2019年度から宇部市内のすべての地域包括支援センター・障害相談支援事業所など15か所に、福祉なんでも相談員が配置されることになりました。その任に当たる相談員の業務の参考になるように、相談内容への対応方法と窓口一覧の一部を掲載しています。

### 目次

1. 相談を受ける際の留意	3~4
□□□個人情報の取り扱い	
□□□相談への対応	
□□□関係機関への引き継ぎと連携	
□2. 福祉なんでも相談窓口の業務概要	4
□3. 相談支援包括化推進会議	4
□4. 日常の業務	5
□□□多機関連携包括的支援体制構築事業	
□□□地域力強化推進事業	
□5. 宇部市校区図 - 人口分布	6~7
各圏域人口・高齢者数・障害者数	
□6. 活用の考え方と対応のめやす (Q&A)	8~23
□□ (Q&A) 目次	8~9
①生活困窮者の支援に関すること	10
②一人暮らしの死亡・緊急入院への対応	11
③障害者の支援に関すること	14
④高齢者・障害者の支援に関すること	13
⑤子育て世帯の支援に関すること	19
⑥その他	22
□7. さまざまな制度 - 窓口手続きに関すること	24~33
①医療費用に関すること	24
②葬祭費に関すること	26
③公的年金に関すること	26
④介護保険に関すること	27
□□⑤高齢者・障害者の日常生活に関すること	29
⑥障害者制度に関すること	33
⑦子育て支援に関すること	35
⑧生活保護制度に関すること	37
8. 法律相談	39
□□①市民無料法律相談	39
□□②よりよい法律相談	39
9. 災害時の支援体制に関すること	40
10. 就労に関する窓口	42
11. 宇部市社会福祉協議会のやっている事業	43~45
①相談事業	43
②貸出事業等	44
③子育て支援事業	45
12. 相談手続先一覧	46~55
□□□宇部市役所 (本庁周辺) の相談・手続先	46
□□□宇部市役所介護・健康・福祉に関する窓口	47~48
□□□宇部市内の市民センター	49
・ふれあいセンター	50
□□□成年後見人制度に関する相談手続先	51
□□□宇部市内の地域包括支援センター	51
□□□宇部市内の障害相談事業所	52
□□□警察署 - 駐在所の連絡先	53
□□□消防署	54
□□□宇部市近辺の救急 - 夜間指定医療機関	55